

# JES GROUP

証券コード 9249

## 日本エコシステム株式会社 2023年9月期 決算説明資料

2023年 11月 14日



## 2023年9月期ハイライト

成長戦略であるM&Aの着実な実行により売上高は過去最高を更新  
当期純利益も大幅な増加により増収増益を達成

▶ 成長戦略であるM&Aを当期累計6件実行

(詳細は決算説明資料18～21ページをご覧ください。)

▶ 研究開発は米国特許の取得に加え、インド特許取得

(詳細は決算説明資料38ページをご覧ください。)

▶ 海外事業（米国進出）は現地調査&事業展開の推進中

(詳細は決算説明資料39ページをご覧ください。)

# 通期トピックス



# 目次

01	2023年9月期 決算概要	P04
02	2023年9月期 M&A実績	P17
03	2024年9月期 業績予想	P22
04	中期経営計画の進捗成果	P30
05	2023年9月期 トピックス	P34
06	サステナビリティ・CSR	P44
07	役員紹介	P47
08	会社概要	P50
09	Appendix	P66



2023年9月期  
決算概要

01

成長戦略である M&A の着実な実行により売上高は過去最高を更新。  
当期純利益も大幅な増加により増収増益を達成

(百万円)

	2022年9月期 実績	2023年9月期 実績	対前年比	通期計画 2022/11/14公表	進捗率 対計画比
売上高	7,220	7,577	104.9%	7,708	98.3%
営業利益	798	635	79.6%	864	73.5%
経常利益	856	685	80.0%	900	76.1%
親会社に帰属する 当期純利益	408	874	214.3%	609	143.4%

当期純利益の主な増加要因 1 **428** 百万円

自社所有の賃貸用オフィスビル売却等に伴う特別利益計上

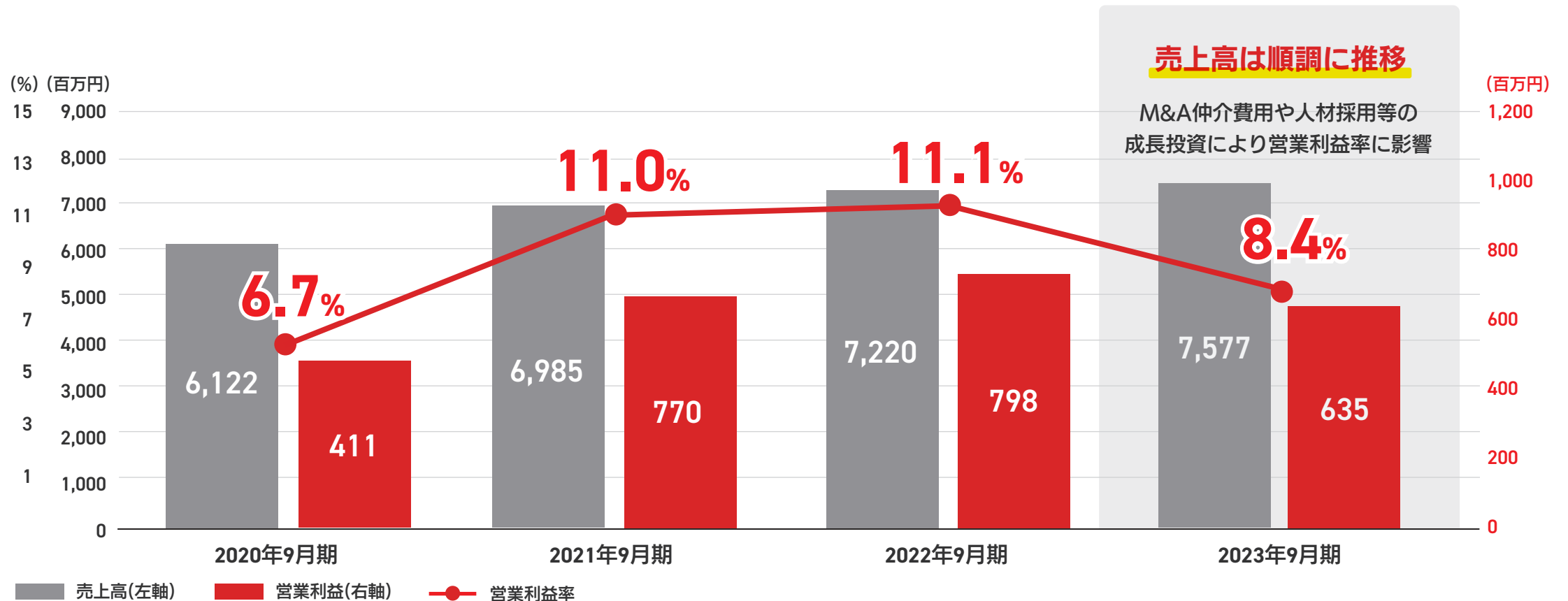
当期純利益の主な増加要因 2 **191** 百万円

M&A によるグループ化に伴う特別利益計上

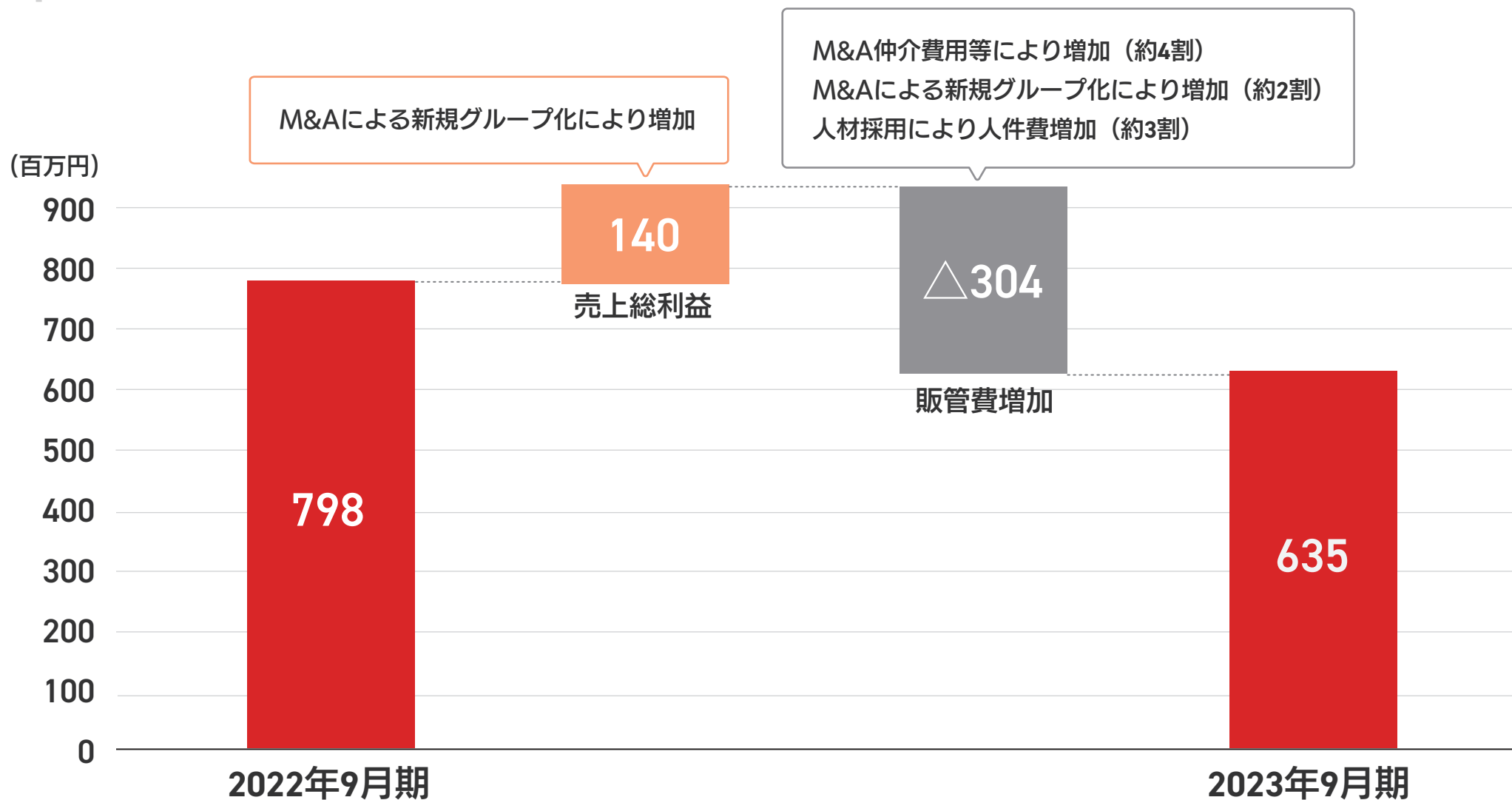
## 売上高・営業利益の推移（連結）

売上高は M&A によりグループ化した会社が増収に貢献。

営業利益は M&A による仲介費用や積極的な人材採用等である成長投資により減益




## 営業利益の増減要因分析





空調衛生設備工事、公営競技関連

売上高

3,654百万円 104.9% 

営業利益

562百万円 102.3% 

前年同期比




分析

- ① M&Aによりグループ化したオー・ティー・エス技術サービスが業績に貢献
- ② 公営競技場運営の包括受託業務が堅調に推移
- ③ 利益率の高いネット投票の売上が堅調に推移

# 2023年9月期 公共サービス事業の実績（数値データ）

## 空調衛生設備工事、公営競技関連

売上高

**3,654**百万円 **104.9%** 

営業利益

**562**百万円 **102.3%** 

前年同期比



	2022年9月期 実績	2023年9月期 実績	対前年比	通期計画	進捗率 対計画比
売上高	3,484	3,654	104.9%	3,705	98.6%
営業利益	549	562	102.3%	551	101.9%
営業利益率	15.8%	15.4%	—	14.9%	—

## 水循環システム・アクアリウム、産業用太陽光発電設備の施工

売上高

731 百万円

83.9%  DOWN

営業利益

64 百万円

88.7%  DOWN

前年同期比



## 分析

- ① アクアリウム受注案件が前期業績好調の反動もあり、当期は鈍化傾向
- ② 産業用太陽光発電設備の施工金額は前年同期比で増加

## 2023年9月期 環境事業の実績（数値データ）

## 水循環システム・アクアリウム、産業用太陽光発電設備の施工

売上高

731 百万円

83.9%  DOWN

営業利益

64 百万円

88.7%  DOWN


前年同期比



	2022年9月期 実績	2023年9月期 実績	対前年比	通期計画	進捗率 対計画比
売上高	872	731	83.9%	994	73.6%
営業利益	72	64	88.7%	124	52.0%
営業利益率	8.3%	8.8%	—	12.5%	—

## 施設（電気通信等）保全業務、道路保全業務

売上高

2,881 百万円 113.9% 

営業利益

747 百万円 107.9% 

前年同期比



## 分析

- ① 日新ブリッジエンジニアリング、グループ化後の通期寄与
- ② エンジニアリング分野（道路照明灯・LED 工事）の自治体需要が堅調に推移
- ③ メンテナンス分野（高速道路の維持管理等）の高速道路運営事業者等からの案件も順調に推移

## 2023年9月期 交通インフラ事業の実績（数値データ）

## 施設（電気通信等）保全業務、道路保全業務

売上高

2,881 百万円 113.9% 

営業利益

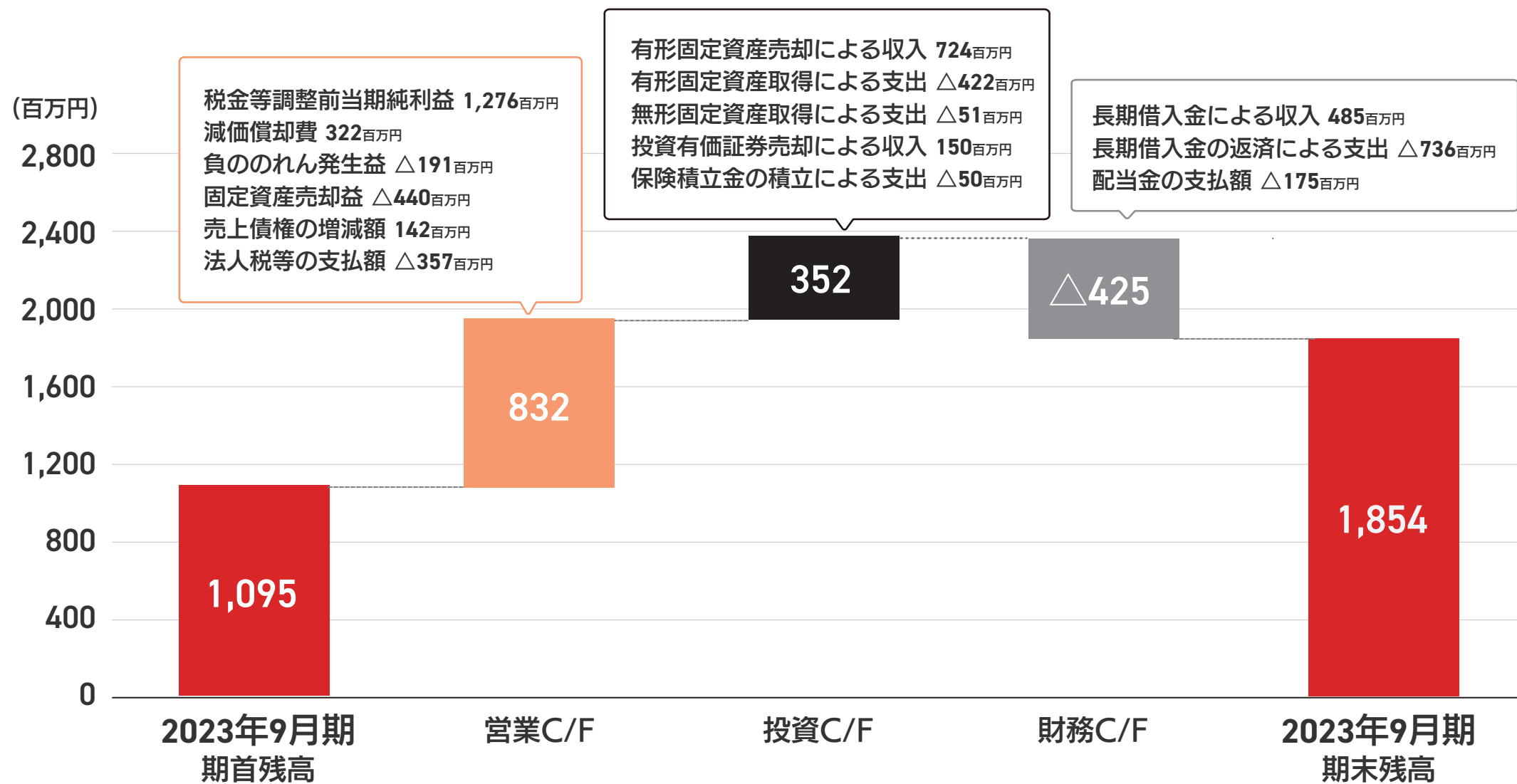
747 百万円 107.9% 

前年同期比



	2022年9月期 実績	2023年9月期 実績	対前年比	通期計画	進捗率 対計画比
売上高	2,530	2,881	113.9%	2,605	110.6%
営業利益	692	747	107.9%	676	110.5%
営業利益率	27.4%	26.0%	—	26.0%	—

# キャッシュ・フローの状況



# 資本収益性と株価を意識した経営

2023年9月末のROEは21.3%、PBRは1.0倍となり、東証スタンダード市場全体の平均以上を推移。  
持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を実現するため、事業強化・成長投資・IR強化を推進

**ROE**

2023年9月期（連結）

**21.3%****時価総額**※

2023年9月期（連結）

**約47億****PBR**※

2023年9月期（連結）

**1.0倍**

資本収益性

成長性

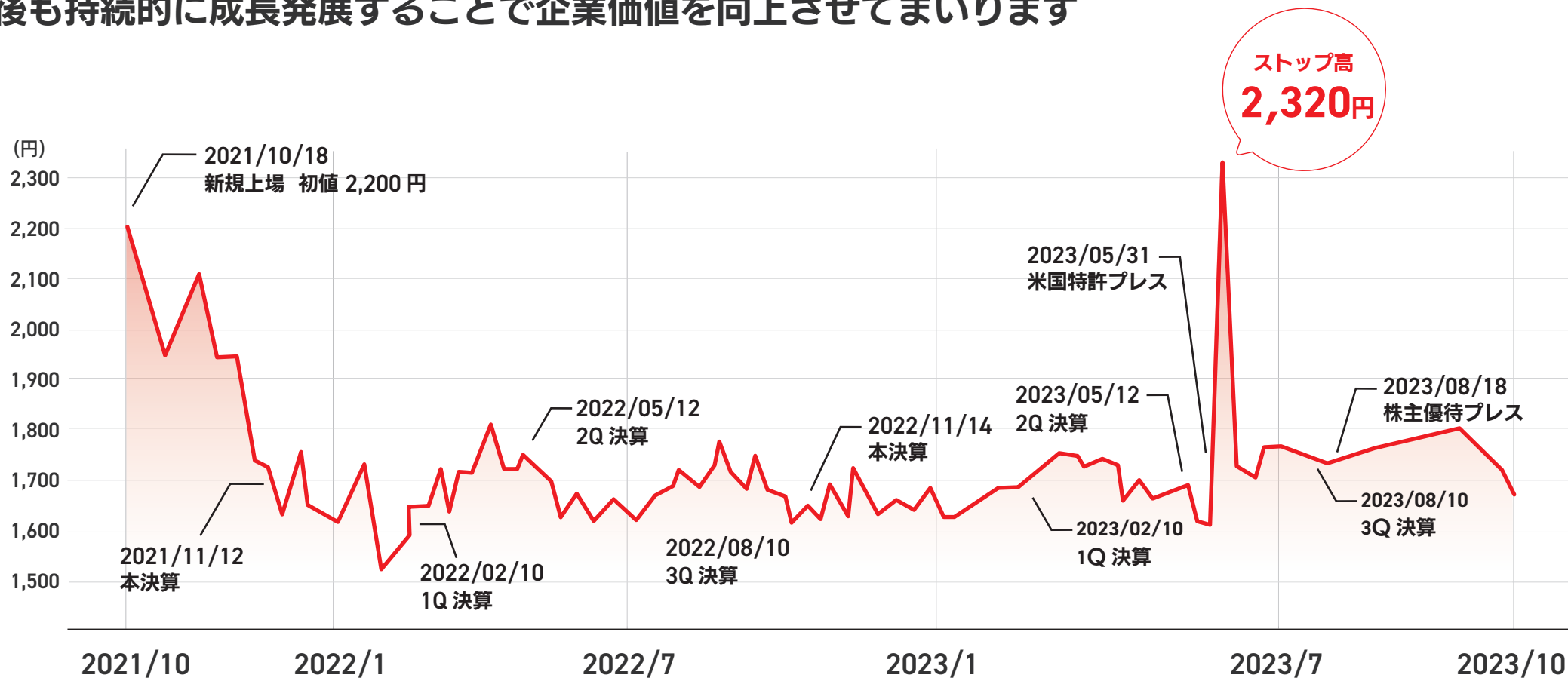
## 継続達成に向けて中期経営計画の推進

1. 事業ポジショニングと方向性に沿った推進
2. 事業強化・領域拡大を促進するM&A投資
3. 技術力を支える資格取得支援
4. 技術者の柔軟な配置を可能とするプラットフォームの整備
5. 研究並びに開発技術事業化への積極投資
6. IR・PRの強化、認知度拡大

※ 時価総額・PBRの算定に用いた株価は2023/07～2023/09の3か月間の平均株価です



既存事業の強化拡大、新事業創出・海外展開、IRの取組拡充、安定配当の方針は継続。  
今後も持続的に成長発展することで企業価値を向上させてまいります





2023年9月期  
M&A実績

02

## 02

## M&amp;A：交通インフラ×空調衛生設備分野の成長拡大

鉄道関係の保守メンテナンス業務、公共施設の給排水衛生設備・空調設備工事を行う  
テッククリエイト（本社：石川県）をグループ化（2023年9月）。

本件 M&A を起点に市場拡大（高速道路業界+鉄道業界）とエリア拡大（北陸地区へ進出）を推進

## 株式会社 テッククリエイト



## 主力事業 1

 鉄道関係のメンテ業務



## 主力事業 2

 給排水・空調衛生設備

シナジー効果  
市場拡大



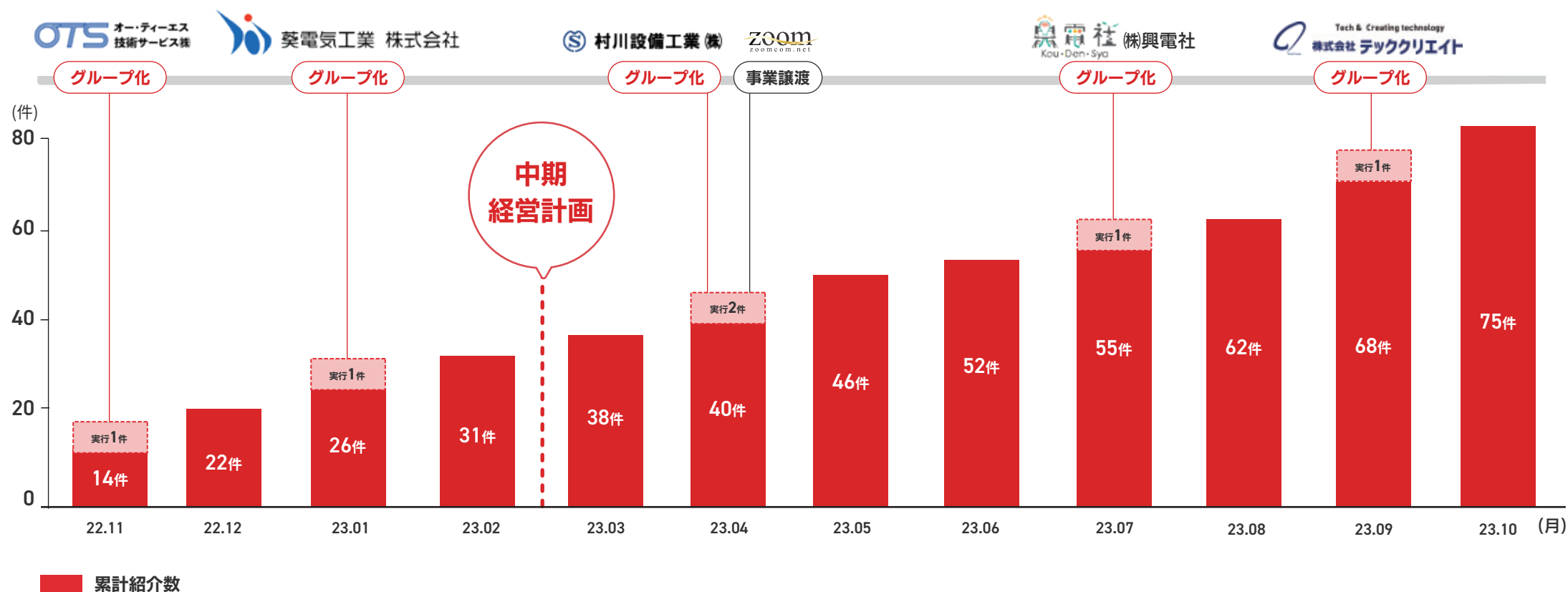
鉄道関係のメンテ業務



## 2023年9月期 M&amp;A 案件累積推移

社内 M&A チームを組成し、オーガニック・インオーガニック両面での成長追求。

2023年9月期は **6件のM&Aを実行**。仲介会社や金融機関からの紹介案件も継続的に獲得中



## 実績金額

約 **10** 億円投資

## 6件のM&amp;A戦略投資の合計

- 1件目 オー・ティー・エス技術サービス株式会社
- 2件目 葵電気工業株式会社
- 3件目 村川設備工業株式会社
- 4件目 株式会社zoomより競輪情報サイト運営事業を譲受
- 5件目 株式会社興電社
- 6件目 株式会社テッククリエイト

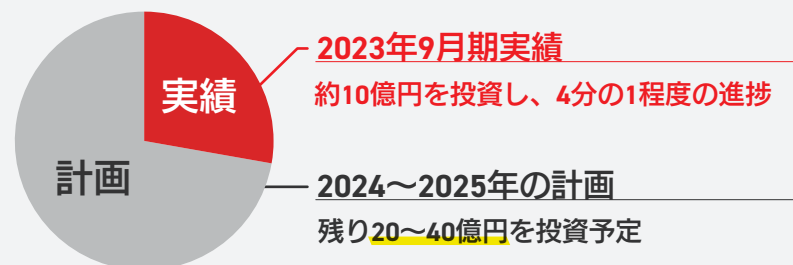
※ 仲介費用と調査費用を含みます。

## 進捗率

約 **20 ~ 33** %

中期経営計画 2023-2025

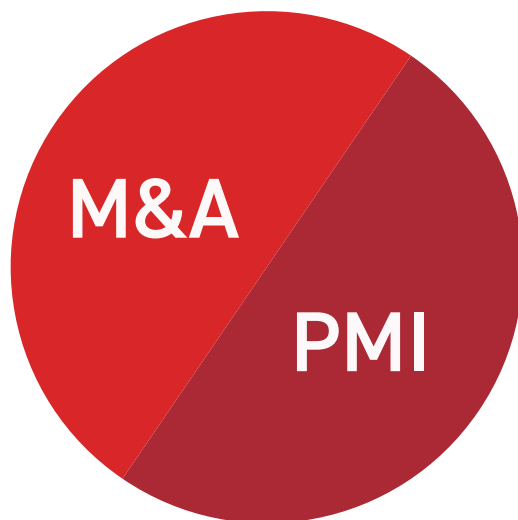
M&amp;A戦略投資30億~50億を計画



## 事業強化・ガバナンス高度化に向けた PMI

当社グループは M&A と PMI をセットで捉え、業務プロセスを標準化・パッケージ化することで、グループ会社の生産性向上・高付加価値の実現を支援。膝と膝を突き合わせた PMI を推進中

### 業務プロセスを標準化・パッケージ化



#### 1 業務 PMI

- ・役員派遣
- ・営業先、仕入先の共有
- ・グループ会社営業会議の合同開催

#### 2 経理財務 PMI

- ・会計基準の差異把握、調整
- ・会計・原価管理システム導入
- ・決算早期化対応
- ・グループ全体の資金管理機能集約

#### 3 人事労務 PMI

- ・人事制度・規程の整備
- ・勤怠管理システム等導入
- ・求人募集業務の集約

#### 4 システム PMI

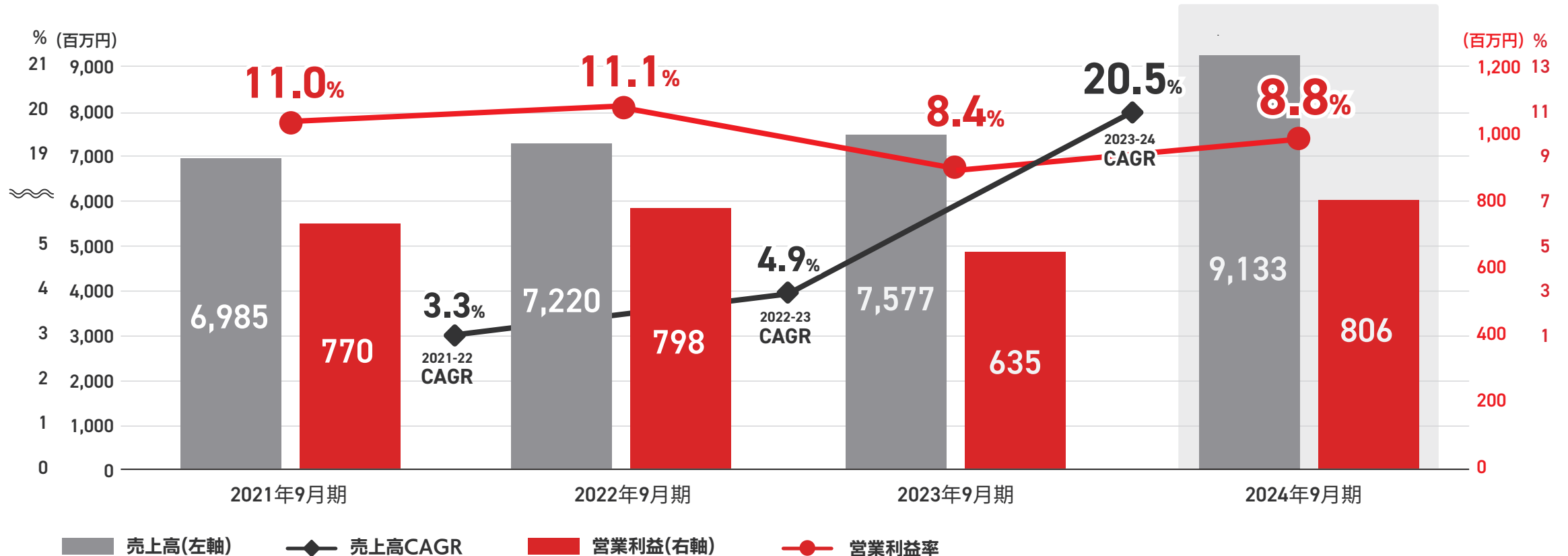
- ・通信環境整備、回線工事
- ・経理、労務システム導入支援
- ・HP 管理、作成支援

2024年9月期  
業績予想

03

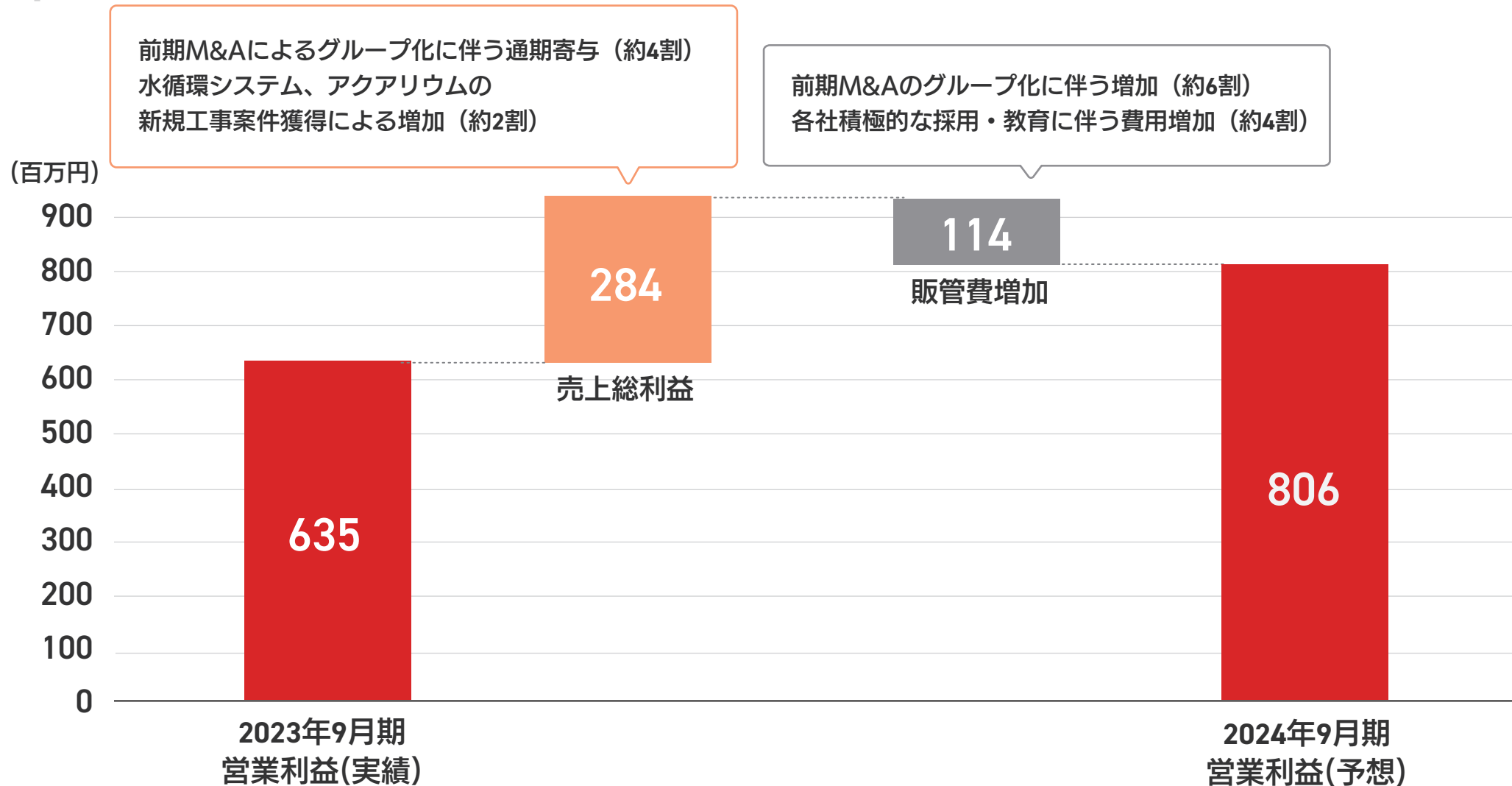
## 売上高・営業利益の予想（連結）

成長戦略であるM&Aの継続的実行と前期M&Aのグループ会社の売上高通期寄与による売上増加を予想。  
売上増加による営業利益増に対し、M&A実行による仲介費用等発生も見込み営業利益増加を予想。  
当期売上高成長率20%を予想





## 営業利益の増減要因分析予想



空調衛生設備工事、公営競技関連

売上高

4,374百万円 119.7% 

営業利益

562百万円 100.1% 

前年同期比



分析

- ① M&Aによりグループ化した  
葵電気工業・村川設備工業が業績伸長に貢献
- ② 前期技術者を増員したことによる  
当社空調衛生設備の受注拡大
- ③ 公営競技場の機器入替に伴う受注増加等



今期の取り組み

- ① 空調衛生設備は、グループ内案件の共有、技術者の増員・  
配置転換によって、業容の拡大を図る
- ② 公営競技関連は、既存事業に加え、これまで培ったシステ  
ム開発力を活かし、業務系システム開発の領域に参入する

## 水循環システム・アクアリウム、産業用太陽光発電設備の施工

売上高

1,120百万円

153.2%



UP

営業利益

216百万円

335.4%



UP

前年同期比



## 分析

- ① 排水浄化処理設備の大型工事案件の受注により業績伸長
- ② 前期反動減となったアクアリウム事業についても受注案件が回復
- ③ 産業用太陽光発電設備の施工金額は前年同期比で増加



## 今期の取り組み

- ① 水槽・排水処理設備の搬入の下請けから企画運営を含めた包括業務への業容拡大を図る
- ② 営業人員の補強

## 施設（電気通信等）保全業務、道路保全業務

売上高

3,332百万円

115.7%



UP

営業利益

686百万円

91.8%



DOWN

前年同期比



## 分析

- ① M&Aによりグループ化した興電社・テッククリエイトが業績伸長に貢献
- ② 積極的な人材採用と教育による先行投資負担増



## 今期の取り組み

- ① 神奈川県興電社、石川県のテッククリエイト、両拠点を活かし、西日本・東日本へのエリア拡大を視野
- ② 技術者の獲得と教育によりエンジニアリングサービスを拡大
- ③ 外注の割合を減らすことでメンテナンスサービスを高収益化

## 株主還元（剰余金の配当）

2024年9月期は、年間配当を **52円/株**へ増配予定。  
第2四半期 中間配当を 26円/株、期末配当を 26円/株とし、  
安定性・継続性のある配当を実施してまいります

### 2024年9月期（予想）

期末配当 26.00円/株

中間配当 26.00円/株

---

年間配当 52.00円/株

### 2023年9月期

期末配当 26.00円/株

中間配当 25.00円/株

---

年間配当 51.00円/株

**株主優待 創立25周年記念株主優待 ※**

※ 詳細は29ページ参照

## 株主優待（創立 25 周年記念株主優待を実施）

皆さまのご支援のおかげで、当社は 2023 年 11 月に創立 25 周年を迎えます。

記念優待として 2 単元以上の株主様に 2,500 円分の当社オリジナルクオカードを贈呈いたします



### 年輪経営・永続企業



会社創立

1998 年 11 月 26 日



創立 25 年目 年商 75 億

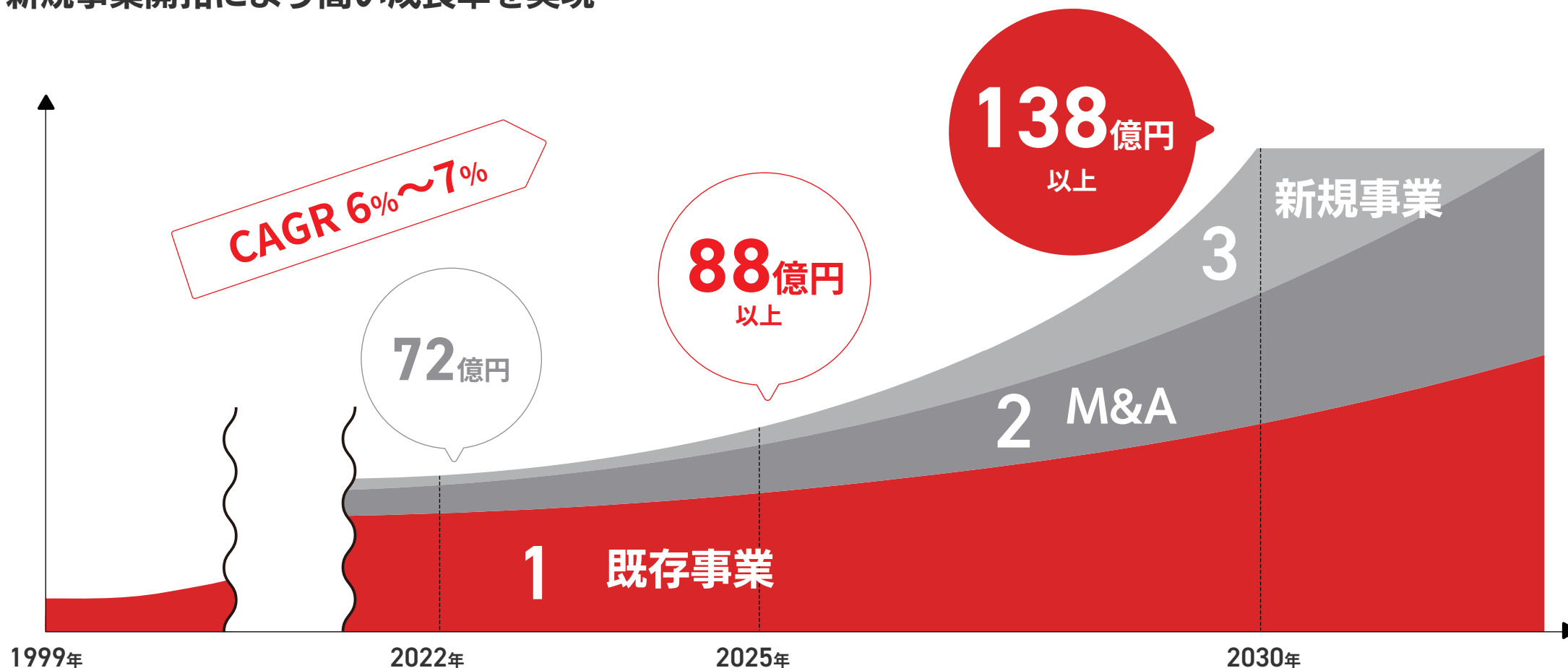
2023 年 11 月現在



# 中期経営計画の 進捗成果

# 04

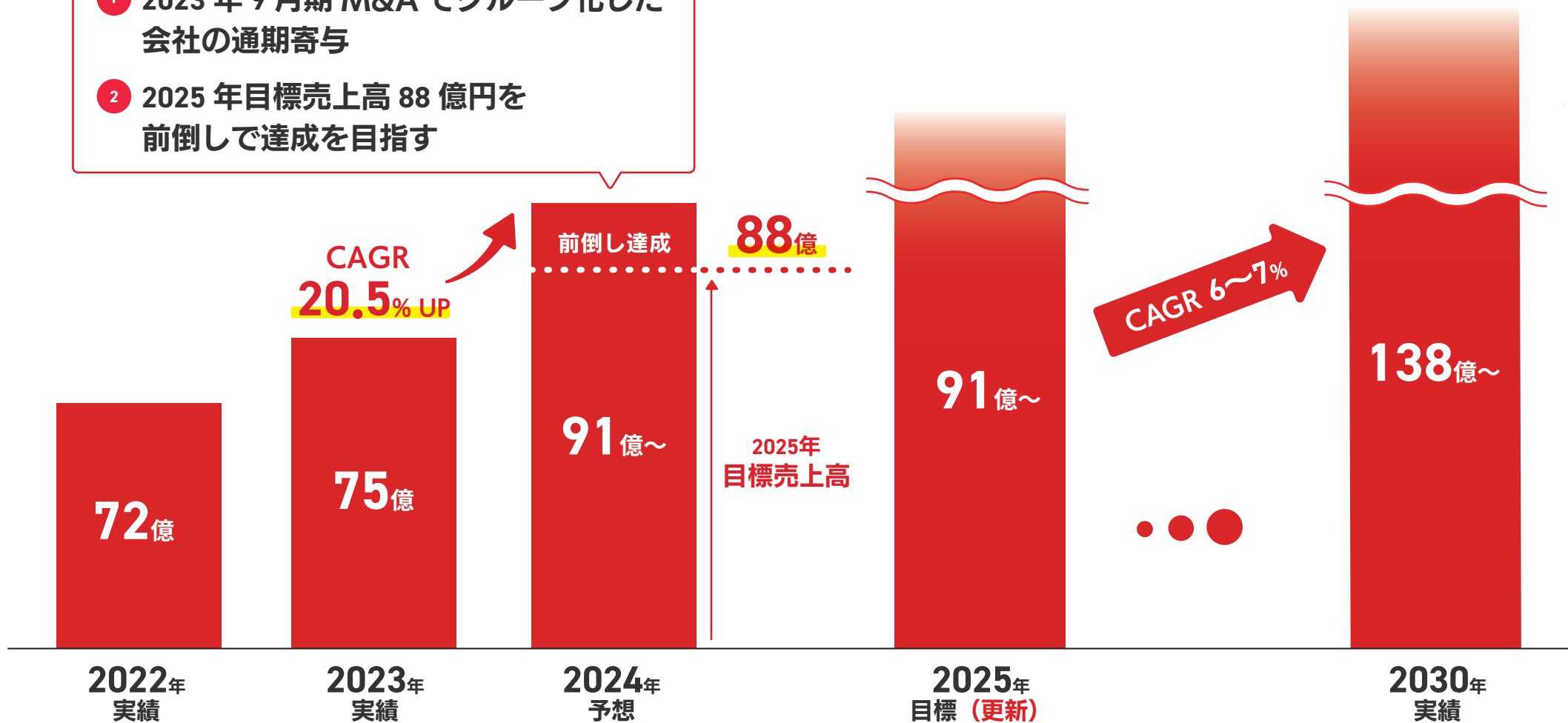
2030年の売上目標を138億円以上とし、既存事業の成長とシナジーの高いM&Aの推進と新規事業開拓により高い成長率を実現



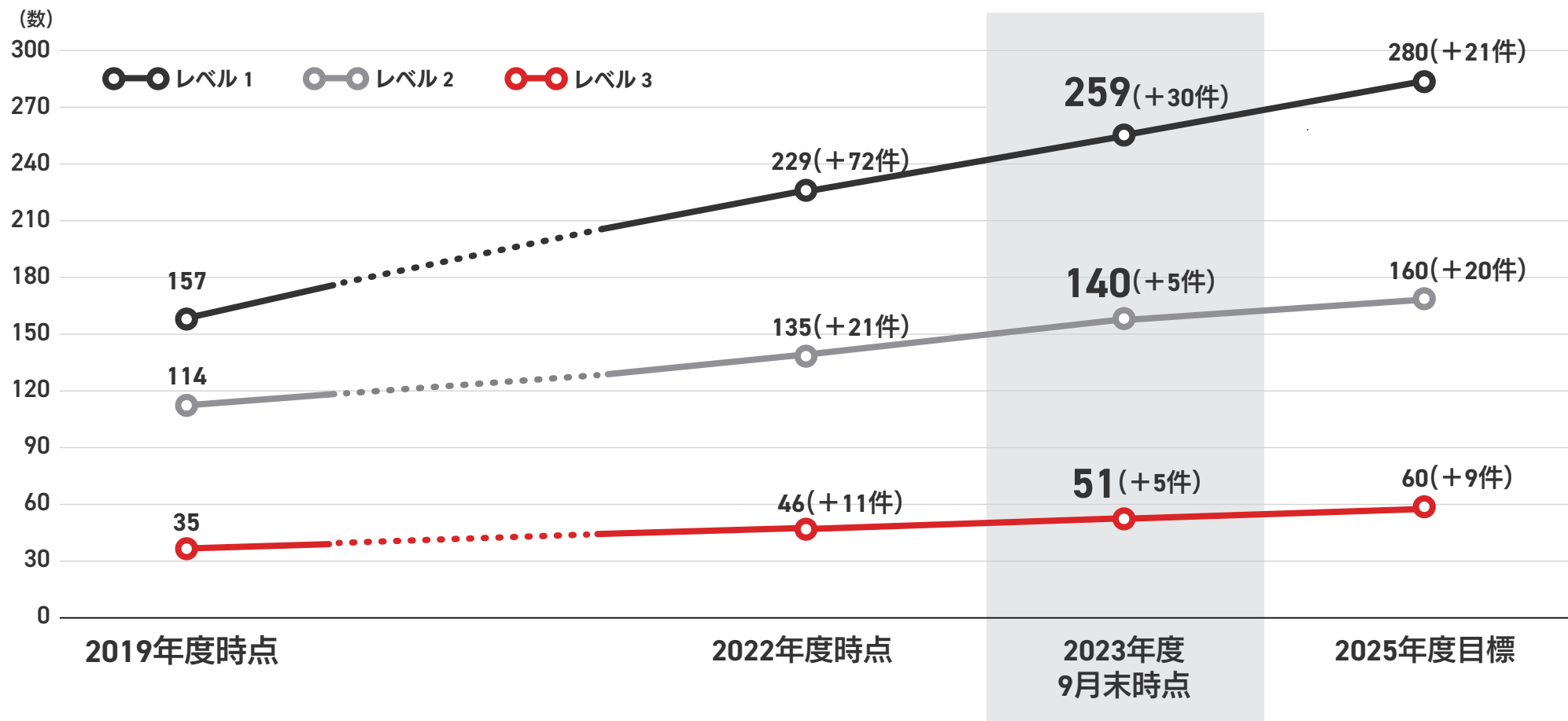


## 中期経営目標① 連結売上高の進捗状況（一部更新）

- 1 2023年9月期 M&A でグループ化した会社の通期寄与
- 2 2025年目標売上高 88億円を前倒しで達成を目指す



## 中期経営目標② 資格取得数の進捗状況





2023年9月期  
トピックス

05

05

# 公共サービス事業 公営競技場受託場数の推移

公営競技全体の市場は成熟化傾向。競合 2 社と静態シェアが拮抗した状況にあるものの、50 年以上の機器販売および保守事業の経験という強みを活かし、収益確保とシェアアップを図る

		2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期
本場 ※実際に自転車やバイクが走る競技場	包括受託(料率売上)	—	—	※1 1場	1場	1場
	部分受託	4場	4場	3場	3場	4場
場外発売場 ※投票券を販売するのみの施設	包括受託(料率売上)	2場	3場	3場	4場	5場
	部分受託	11場	11場	11場	10場	8場
競技別	競輪	10場	10場	10場	10場	12場
	競馬	4場	4場	4場	5場	3場
	オートレース	—	1場	1場	1場	1場
	ボートレース	3場	3場	3場	2場	2場

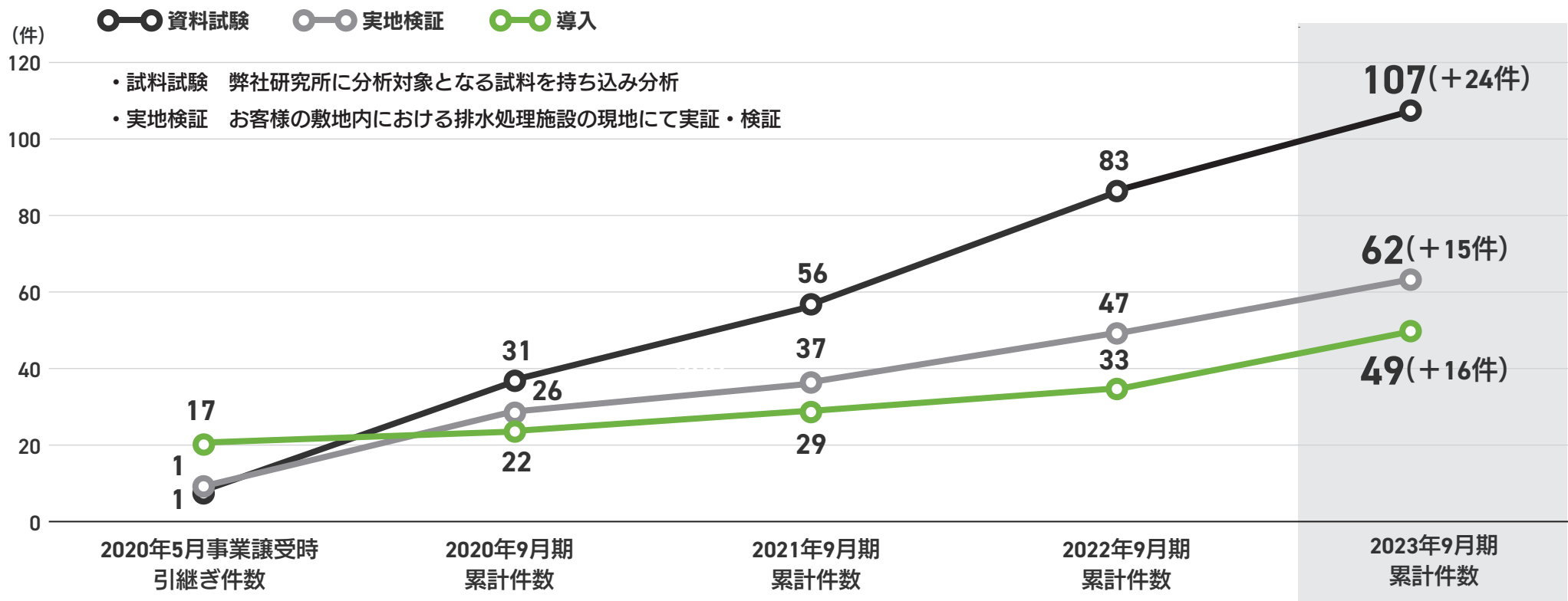
※1 部分受託から包括委託へ契約形態を移行

※2 上表は日本ベンダーネット、OTSの受託場数を合算した数値を表記

## 05

## 環境事業 試料試験・実地検証の件数推移

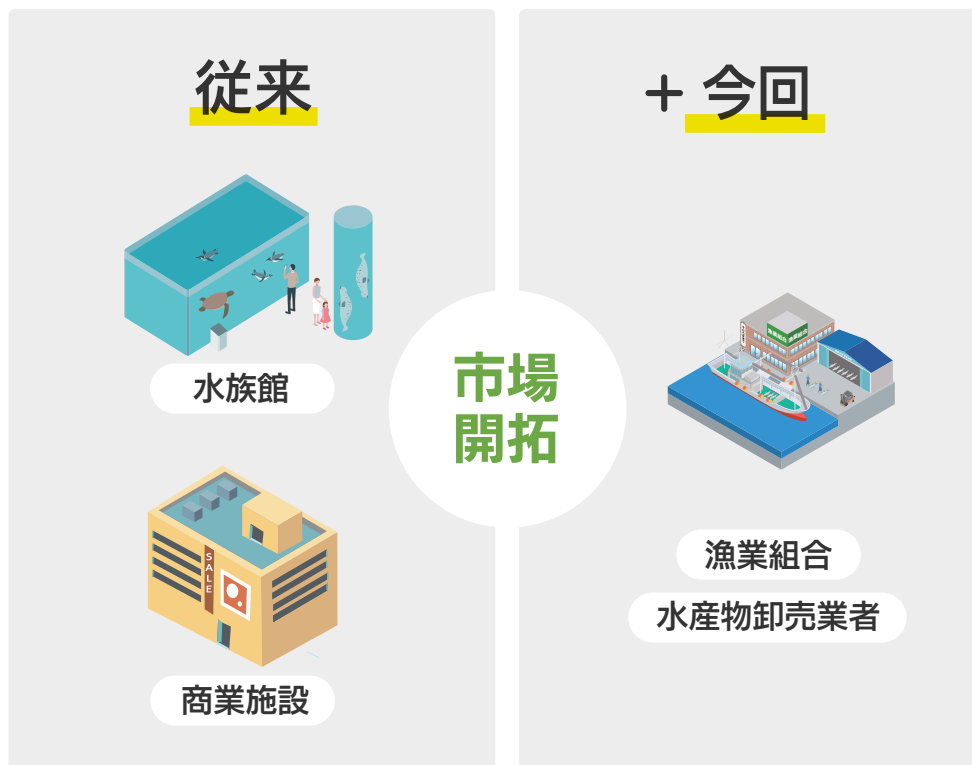
継続的な営業活動の推進により試料試験及び実地検証の件数が拡大



## 05

## 環境事業 水槽・配管工事分野の市場開拓

アクアリウム事業の水槽工事、排水処理設備用配管工事において、営業強化・市場開拓を推進中。  
水族館、商業施設向け展示水槽工事に加え、漁業組合・水産物卸売業者向け水槽工事案件にも参入



## 水産物卸売業者事例

赤羽商店（愛知県岡崎市）6号倉庫内  
6号 1水槽、2水槽、3水槽、4水槽冷凍機更新工事

## 漁業組合事例

新富津漁協（千葉県）無菌牡蠣殺菌設備移設工事  
無菌牡蠣殺菌設備の移設に伴う配管工事の実施

## 環境事業 原油スラッジ処理技術のインド特許取得

世界的な課題である原油スラッジ処理に有用な当社技術がインド特許庁で特許登録（2023年8月）。日本、米国に続いて3か国目の権利化達成。知財を活用した新技術の海外展開に向けて鋭意準備中

### 海外特許取得状況



## 05

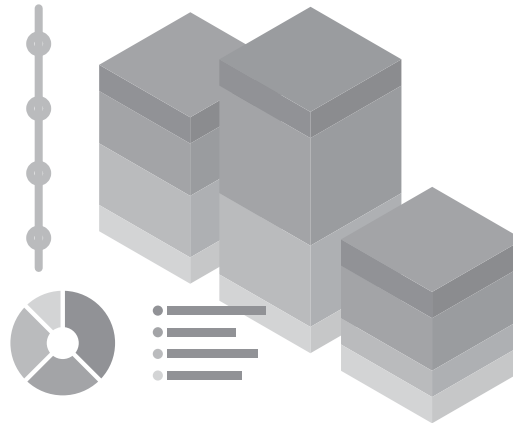
## 全社 JESg事業開発研究室 海外事業展開の進捗

米国進出に向けて現地のニーズやトレンドを把握するため、市場調査を継続中（2023年11月時点）。  
300年企業へ発展させるべく、将来の世代に向けた次の時代を見据えたチャレンジを推進

1 当社従業員を  
米国現地へ派遣



2 現地の  
市場調査



3 当社事業の  
認知度向上

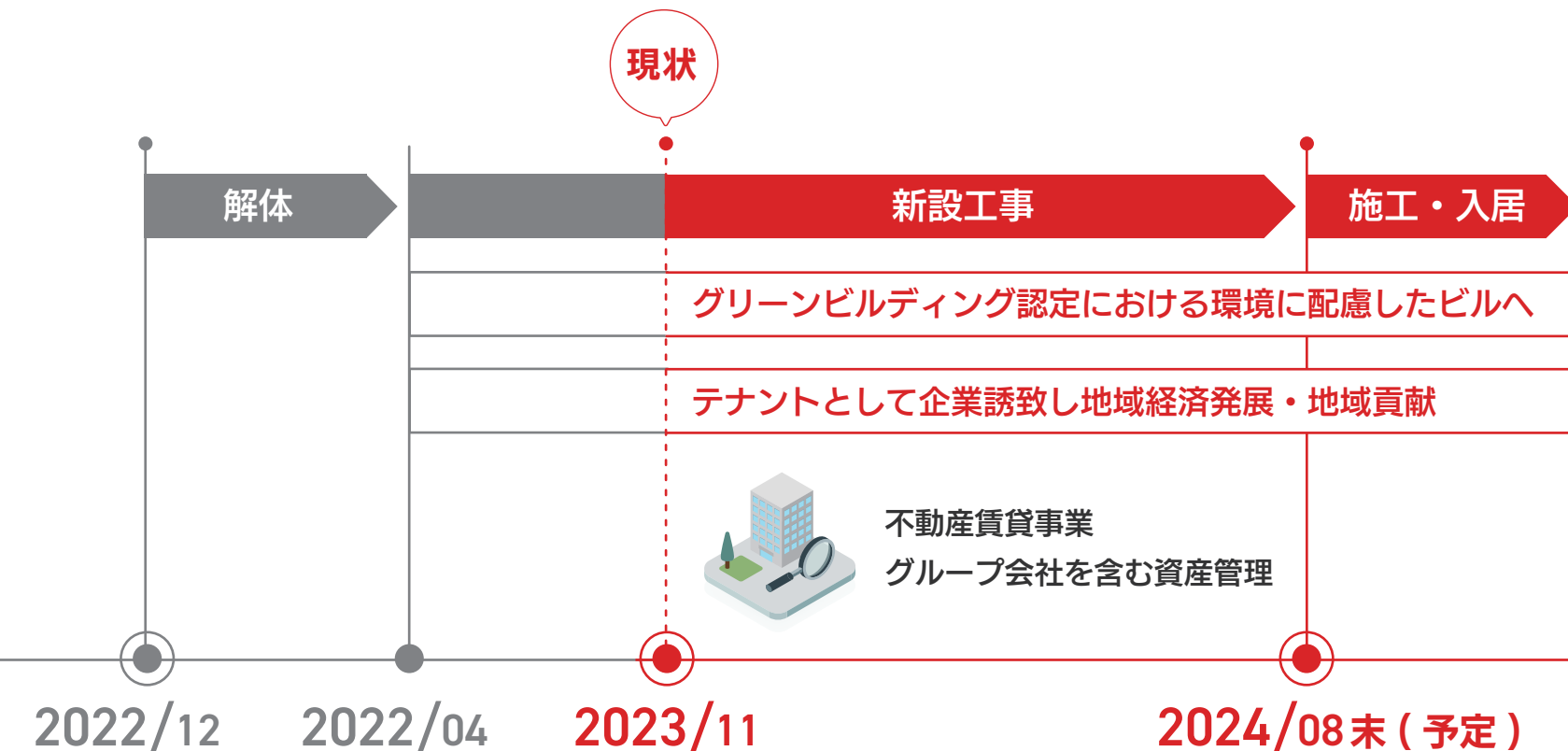




# 05

## 全社 自社所有賃貸ビルの進捗と今後の不動産戦略

本社機能と賃貸用不動産の機能を兼ねた新ビルは 2024 年 8 月末の完工に向けて順調に進捗。  
 不動産事業は賃貸事業+グループ経営における財務の最適性を維持するための資産管理の強化に注力



## 05

## 全社 HP リニューアル

IR 活動推進・SEO 対策強化を目的として、ホームページを再構築し、2023 年 9 月に公開。  
今後も事業方針やサステナビリティ情報などを積極的に配信してまいります

**目的① 個人投資家に向けた IR ページの強化**

UI,UX の強化による離脱率の低下や、IR ページの内容充実を行い、ユーザーの知りたい情報がより早く、より明確に伝わることを目標に全ページのリニューアルを行いました。

**目的② SEO 対策強化による認知度向上**

最新の技術を駆使した SEO 対策を行い、ビックキーワードや当社名などのスモールキーワードでの表示順位向上に繋がります。

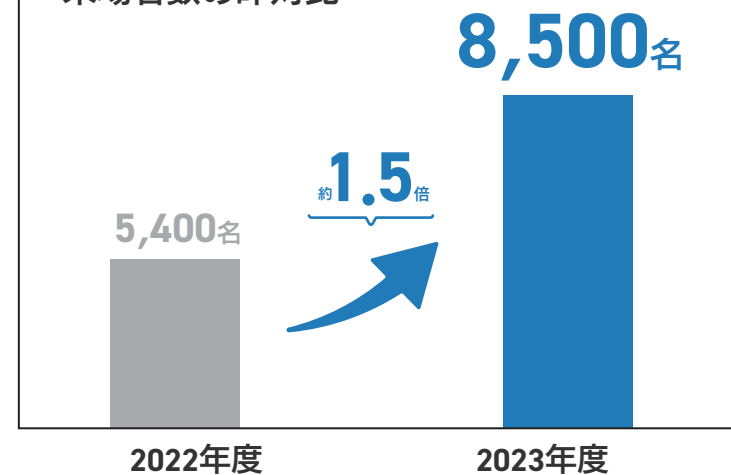
# 05 | 全社 名証 IR エキスポ 2023 に出展

名古屋証券取引所主催の名証 IR エキスポ 2023 に 2 年連続出展 (2023 年 9 月 8 日 - 9 日の 2 日間)。  
個人投資家への認知拡大を目的にミニ説明会や個別面談を実施。ブース全席が埋まるほどの盛況



## iR IR EXPO 2023

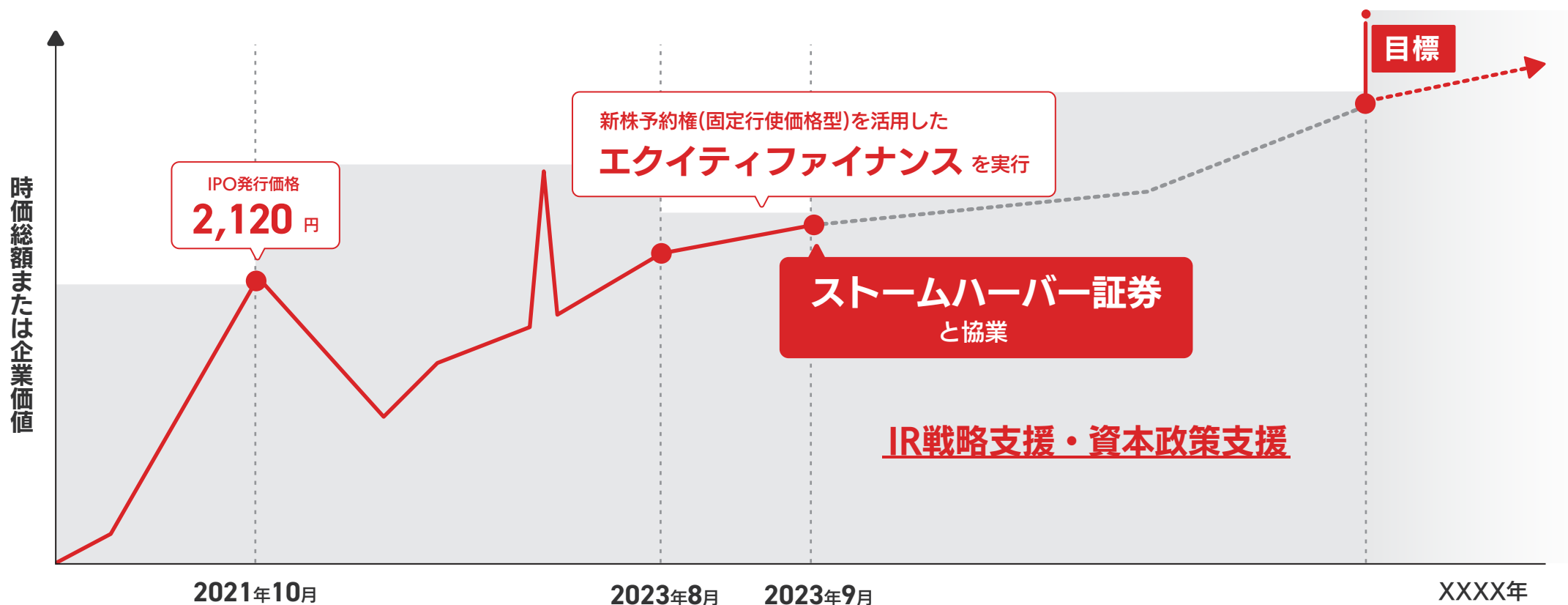
来場者数の昨対比



## 05

## 全社 ストームハーバー証券との協業開始

2023年8月に公表したエクイティファイナンスに関し、ストームハーバー証券と業務協力を開始。同社の資本政策の策定支援やIR戦略支援を通じ、企業価値向上&投資対象となる企業への転換を図る





サステナビリティ・  
CSR

06

## 一宮市公共施設アダプトプログラムに参加

ボランティア活動の一環として、一宮市アダプトプログラム（清掃から始めるまちづくり）に参加。地域貢献として清掃活動を定期的に行い、持続可能な社会を目指しSDGsへ貢献



### 一宮市アダプトプログラムとは？

一宮市アダプトプログラムとは、一宮市が参加者を募集している地域の道路や公園・緑地等の清掃活動で、当社も一宮駅前広場の清掃活動に参加しています。



### SDGsへの貢献

清掃活動へ参加し、持続可能な社会に貢献します。



## 職域販売サービス導入によるロス削減＋各種募金の取り組み

SDGs の目標の一つである食品・商品廃棄物ロス削減の取り組みとして、株式会社ファーストクラスが運営する「CLOSED Mart (クローズドマート)」を導入。商品の売上の一部は NPO 法人や途上国への寄附に使用。社会貢献の推進を図る





# 役員紹介

# 07





社会・環境と共に発展できる

## 「エコシステム」の実現へ

社会への貢献を第一と考え、  
多様化する社会のニーズに応え続けるために、  
より一層の企業価値向上に努め、社会に必要とされ続ける  
「300年企業」の創造を目指してまいります。

代表取締役社長

本島 徹



松島 穰  
代表取締役社長



中村 成一  
専務取締役  
交通インフラグループ担当



奥村 泰典  
常務取締役  
生活産業グループ担当



内田 敦  
取締役



稲生 篤彦  
取締役  
管理本部担当



杉戸 俊之  
独立社外取締役



田野 好彦  
独立社外取締役



伊東 史子  
独立社外取締役



亀山 直人  
取締役常勤監査等委員



加納 正二  
独立社外取締役監査等委員



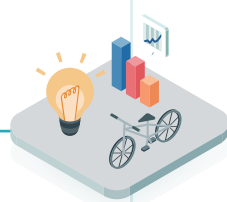
南 善隆  
独立社外取締役監査等委員



# 会社概要

# 08

会社名	日本エコシステム株式会社	資本金	762,266,638 円
会社所在地	愛知県一宮市本町二丁目 2 番 11 号 JES 一宮ビル	決算期	9 月
代表者	代表取締役社長 松島穰	発行株式数	2,697,600 株
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 公共サービス事業 トータリゼータシステムの設計・販売・保守 AI 活用サービス、電気・空調衛生サービス</li><li>■ 環境事業 環境修復事業や、再生可能エネルギー発電設備の開発・ 販売・設計・施工など、新エネルギー</li><li>■ 交通インフラ事業 高速道路を中心とした電気通信設備・ETC保守、橋梁・構造物の 点検、道路・公共設備の照明灯工事、道路等の維持修繕工事</li></ul>	従業員数	連結 508 名（平均臨時雇用人員含む） <small>※23/9/30 時点</small>
		監査法人	EY 新日本有限責任監査法人
		上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 名古屋証券取引所メイン市場
			 



公共  
5社

- ・日本ベンダーネット株式会社
- ・OTS 株式会社 ※
- ・村川設備工業株式会社
- ・中央警備保障株式会社
- ・葵電気工業株式会社

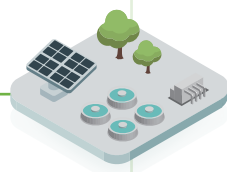
※ 2023年10月1日付でオー・ティ・エス技術サービス㈱がサテライト一宮株を吸収合併し、OTS㈱となりました。  
※ 日本エコシステムを除く



交通  
5社

- ・株式会社ワンズライフ
- ・株式会社日新ブリッジエンジニアリング
- ・有限会社ぼくちオジカオート
- ・株式会社テッククリエイト
- ・株式会社興電社

※ 日本エコシステムを除く



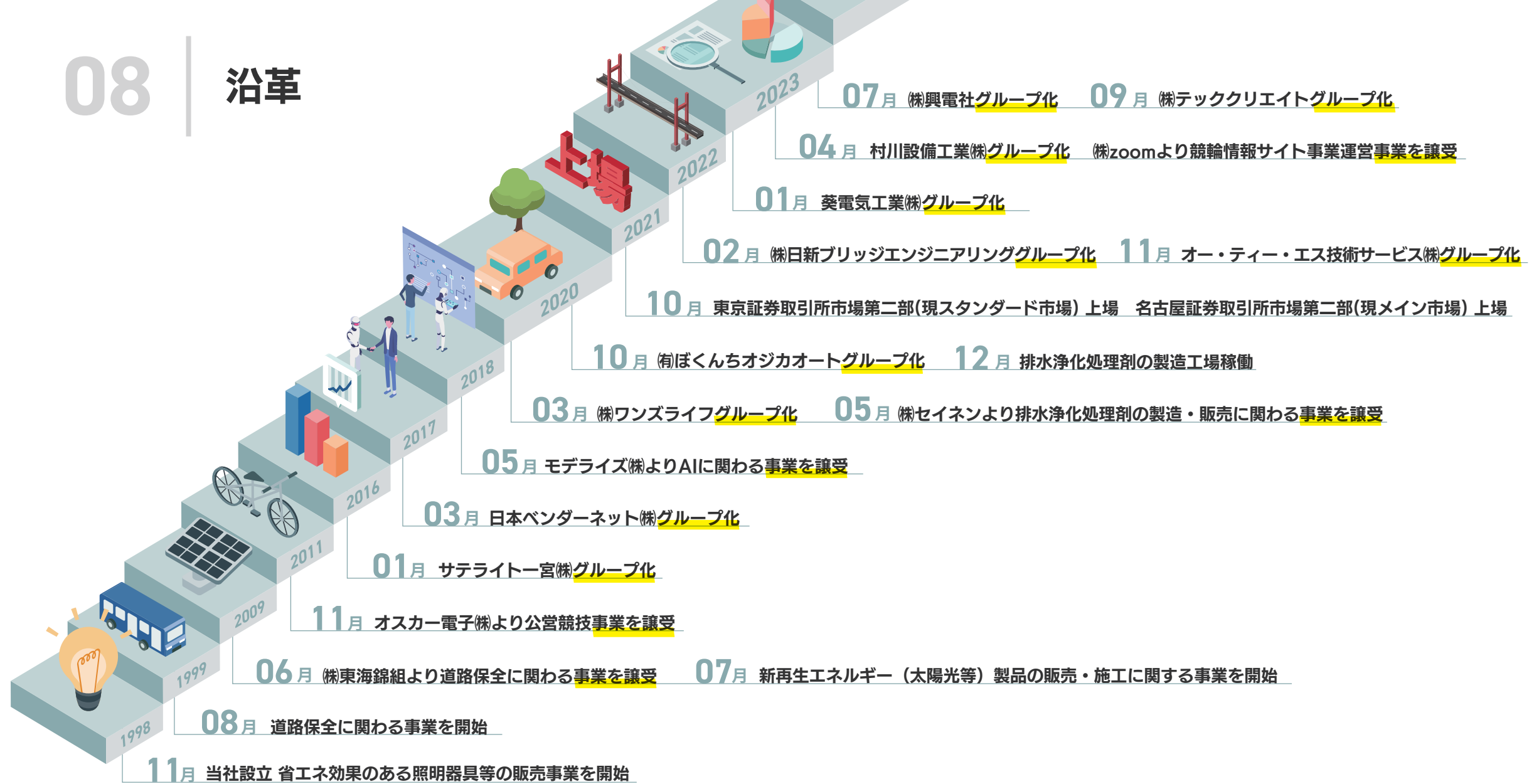
環境  
1社

- ・JESテイコク株式会社

※ 日本エコシステムを除く

# 08

## 沿革



〔 JESグループ共通社是 〕

み こう どう  
未 晃 道

未来の地球を照らし、輝き続ける事業を創造します

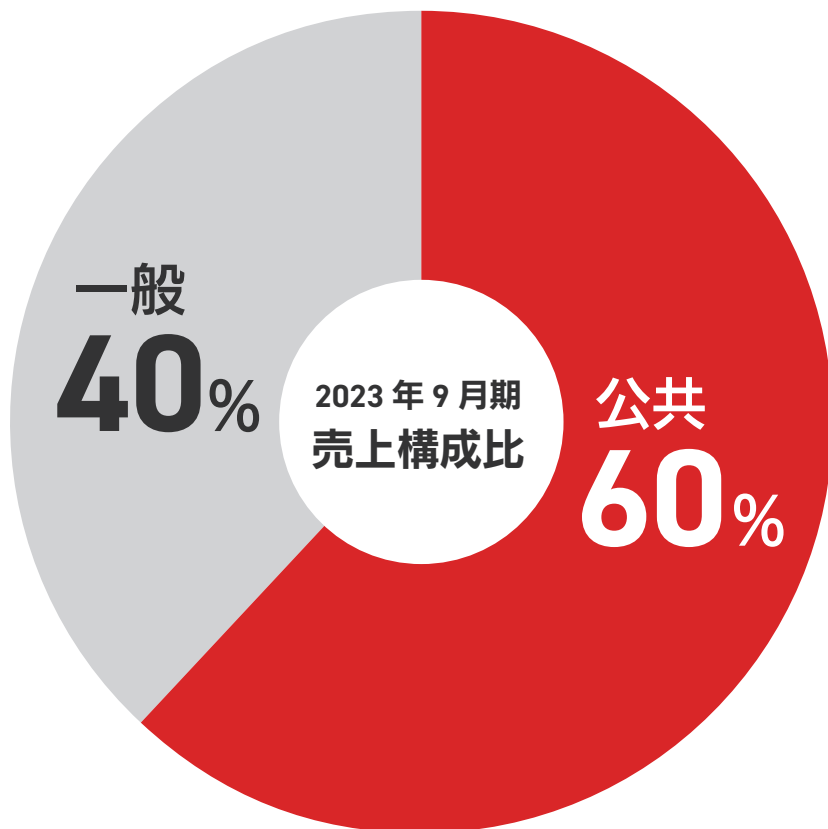
〔 経営理念 〕

事業を通じ、物心両面の幸福を追求すると同時に、  
かけがえのない地球環境の維持にも貢献します。



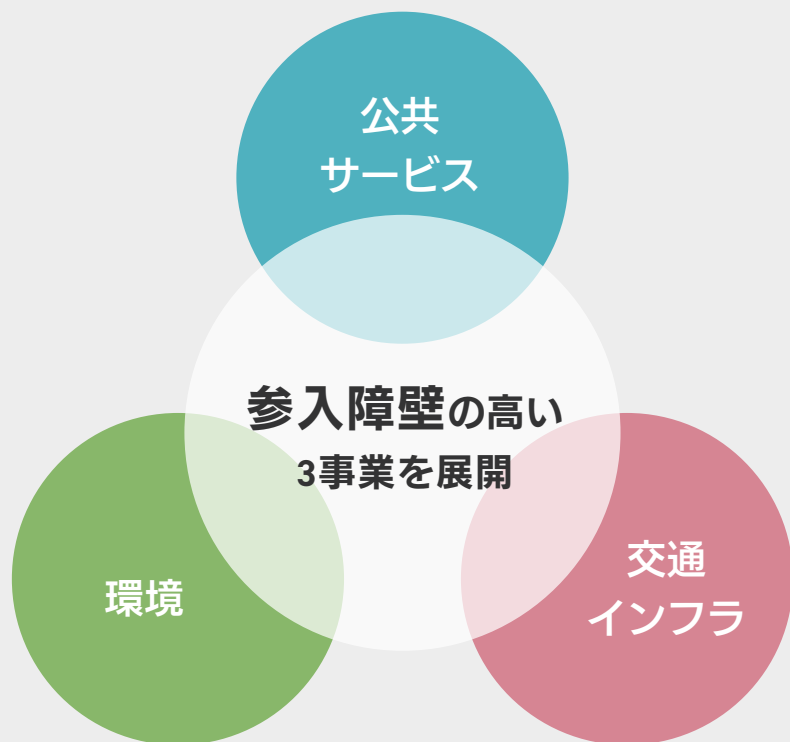
社会の課題を解決し、必要とされ続ける  
**300年企業を創造**





BtoP (Public) を中心とした  
**安定性の高い**領域で事業展開

当社グループは参入障壁の高い  
公共サービス・環境・交通インフラの  
**3セグメント**より構成



## 公共サービス

自治体が主催する公営競技における運営サービスを展開。  
川上のシステム設計から川下の施設運営までを一気通貫で提供する事により差別化。

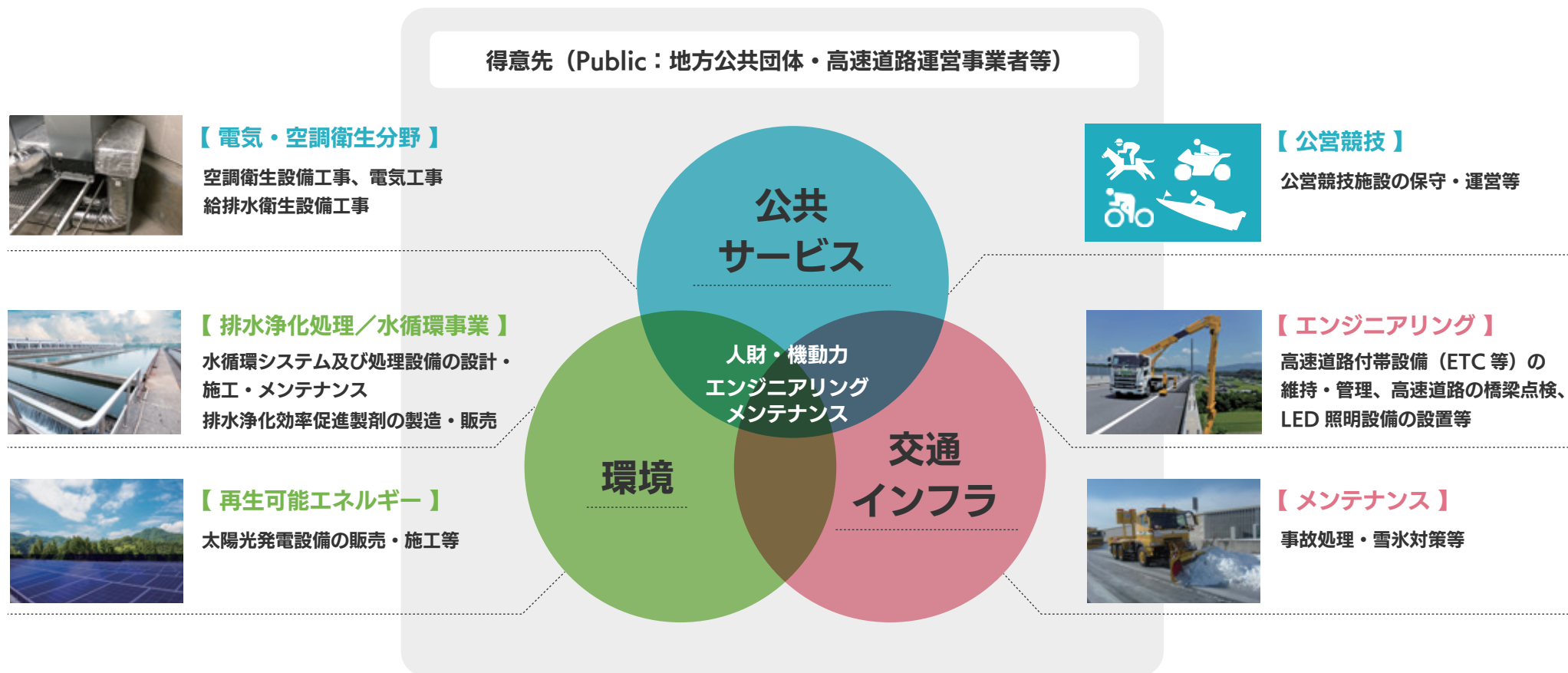
## 環境









再生可能エネルギー事業に加え、排水処理事業・水循環事業を開始。  
長期成長分野の事業として育成中。

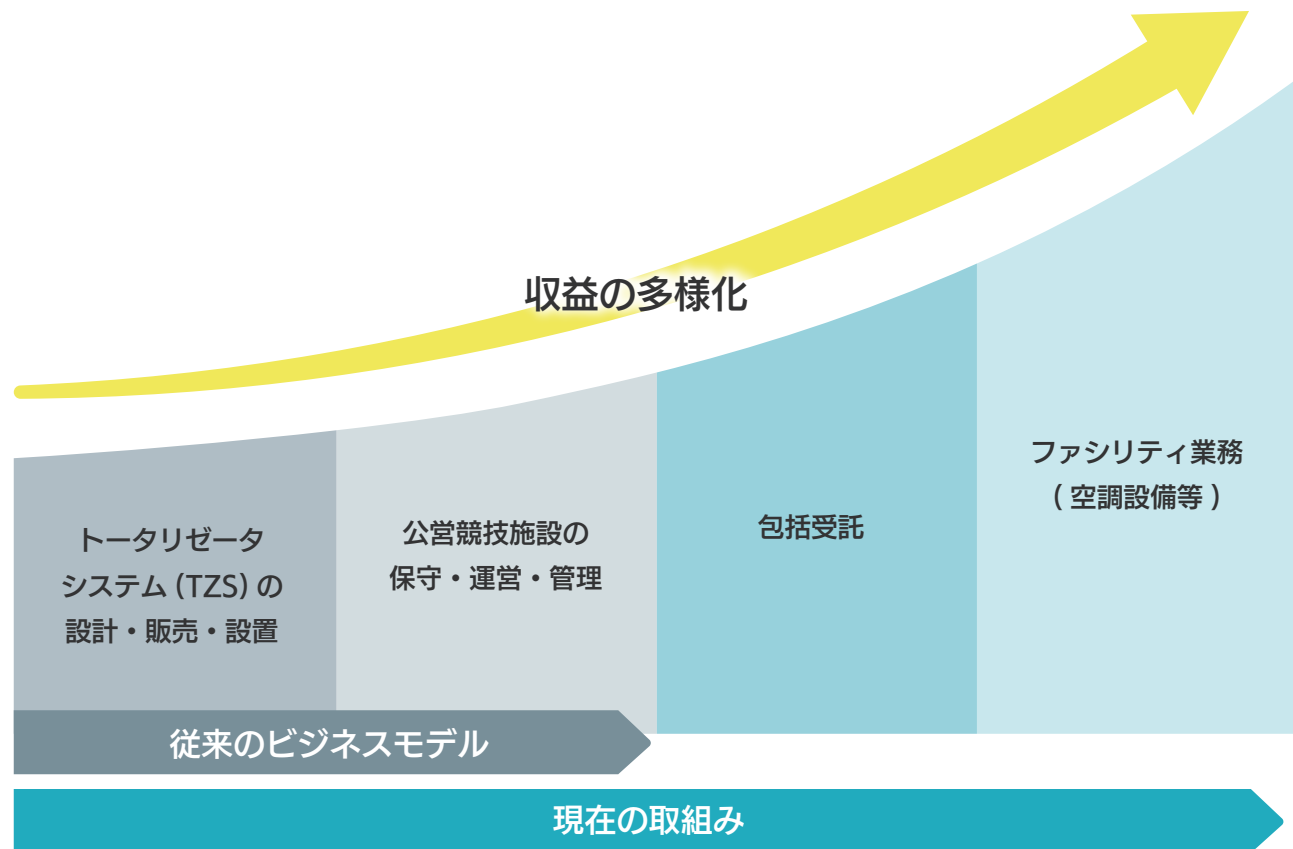
## 交通インフラ

主に自治体・中部エリア高速道路運営事業者からの委託を受けて構造物点検や電気通信設備・ETC等の保守サービスを展開。高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現。

エンジニアリング・メンテナンスを強みに公共施設・環境関連向け「**社会インフラサービス企業**」として事業展開



	公共 サービス	環境	交通 インフラ	その他
<b>注力分野</b> 積極的に成長投資を実施し、 事業拡大を狙う分野	 電気・空調衛生設備	 産業用太陽光発電設備 アクアリウム	 エンジニアリングサービス	
<b>深化分野</b> 効率化を図り、 収益性を高める分野	 公営競技	—	 メンテナンスサービス	 不動産
<b>長期成長分野</b> 長期的な成長を目指し、 研究開発の実施や、 新しいビジネスモデルを開拓する分野	—	 水循環システム	—	 AI・ICTソリューション アクアリウム



1 運営事業者が個別に発注していた業務を包括的に受託  
業務効率化等により収益率が向上

2 AI 予想、ネット販売サイトの運営



3 場外車券場を運営



4 空調設備等のファシリティ業務



- 電気・空調衛生設備は、技術者の増員により事業拡大
- 公営競技は、施設全体運営の包括案件やネット投票を拡大させ高収益に

注力  
分野

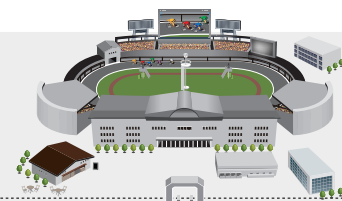
## 電気・空調衛生設備



- 教育と採用を強化により技術者を増員し、豊富な需要をカバー
- 利益率の高い案件を優先的に受注し、収益改善も狙う
- M&Aによる地域拡大も視野に

深化  
分野

## 公営競技



- 強みのある公営競技施設全体の運営の包括的な受託案件を拡大
- 急拡大するネット投票やAI予想も強化

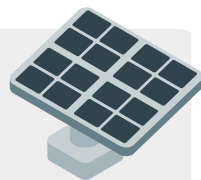
- 2020年より排水浄化処理事業を開始、長期成長分野の事業として育成中
- 産業用太陽光発電設備の施工及び売電が現在の主力事業



- 太陽光発電設備は、リソースを確保し成長に注力
- アクアリウムは、業容を拡大して効率的に案件の獲得を狙う

## 注力分野

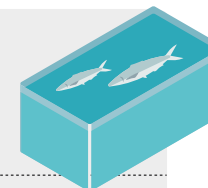
## 産業用太陽光発電設備



- 需要が増加する工場の自家消費向け案件を着実に受注
- 技術者の獲得と教育による増員
- 営業力・提案力・実行力の強化

## 注力分野

## アクアリウム（水族館等）



- 水槽搬入の下請けから企画運営を含めた包括業務へ業容の拡大を狙う
- 施設全体の設計施工の受注により空調や給排水設備の提供も視野



## ビジネスモデル 交通インフラ事業

- 高速道路上のエンジニアリング&メンテナンスに特化
- 高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現



- エンジニアリングサービスの拡大とメンテナンスサービスの高収益化
- M&Aを活用して西日本、東日本へのエリア拡大も視野

## 注力分野

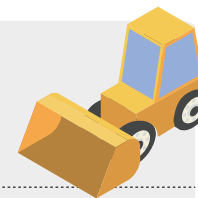
## エンジニアリングサービス



- 技術者の獲得と教育により包括的な受注を拡大
- 中部エリア高速道路運営事業者における新規案件獲得および営業方法の確立
- AI・IOT・5G等の次世代に向けた領域にも注力

## 深化分野

## メンテナンスサービス



- 信頼度および質の高い成果/業績を維持し継続的に受注
- 外注の割合を減らし、高収益性を実現
- 技術者の獲得と教育に注力



# Appendix

*09*

09

過去トピック 公共サービス事業 M&A

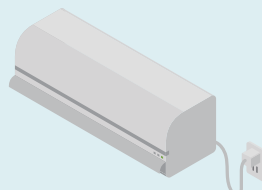
葵電気工業グループ化 (2023年1月)。

空調設備工事等のサービス提供範囲の拡大といったシナジー効果を創出

日本エコシステム株式会社

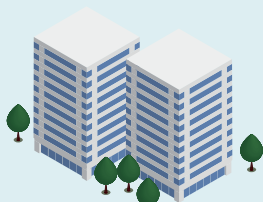


トータリゼータシステム



空調衛生設備等ファシリティ

葵電気工業株式会社



マンション



大型商業施設



両社のシナジー効果を創出

新規取引先開拓

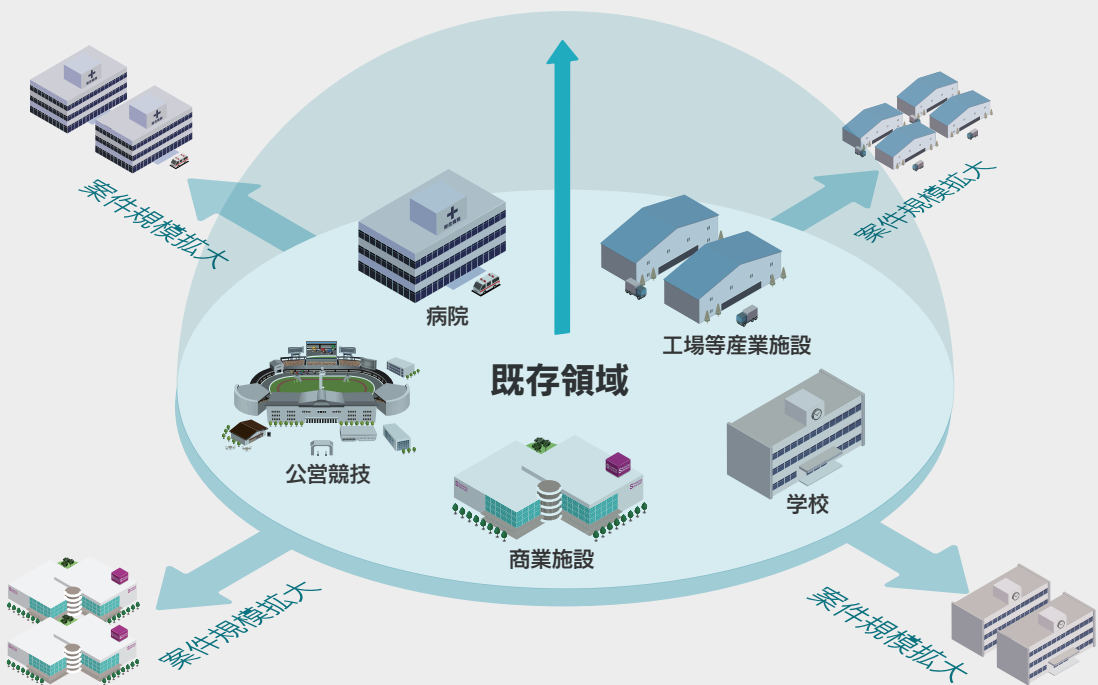
ファシリティ関連の  
サービス提供範囲拡大

09

# 過去トピック 公共サービス事業 葵電気工業 PMI 事例

葵電機工業（2023年1月 グループ化）との連携による工事案件・規模の拡大。  
 設備工事領域のプラットフォーマーとして今後も領域拡大・売上拡大に注力

シナジー効果で売上拡大



## 工事实績

名古屋商科大学 語学センタートイレ改修工事



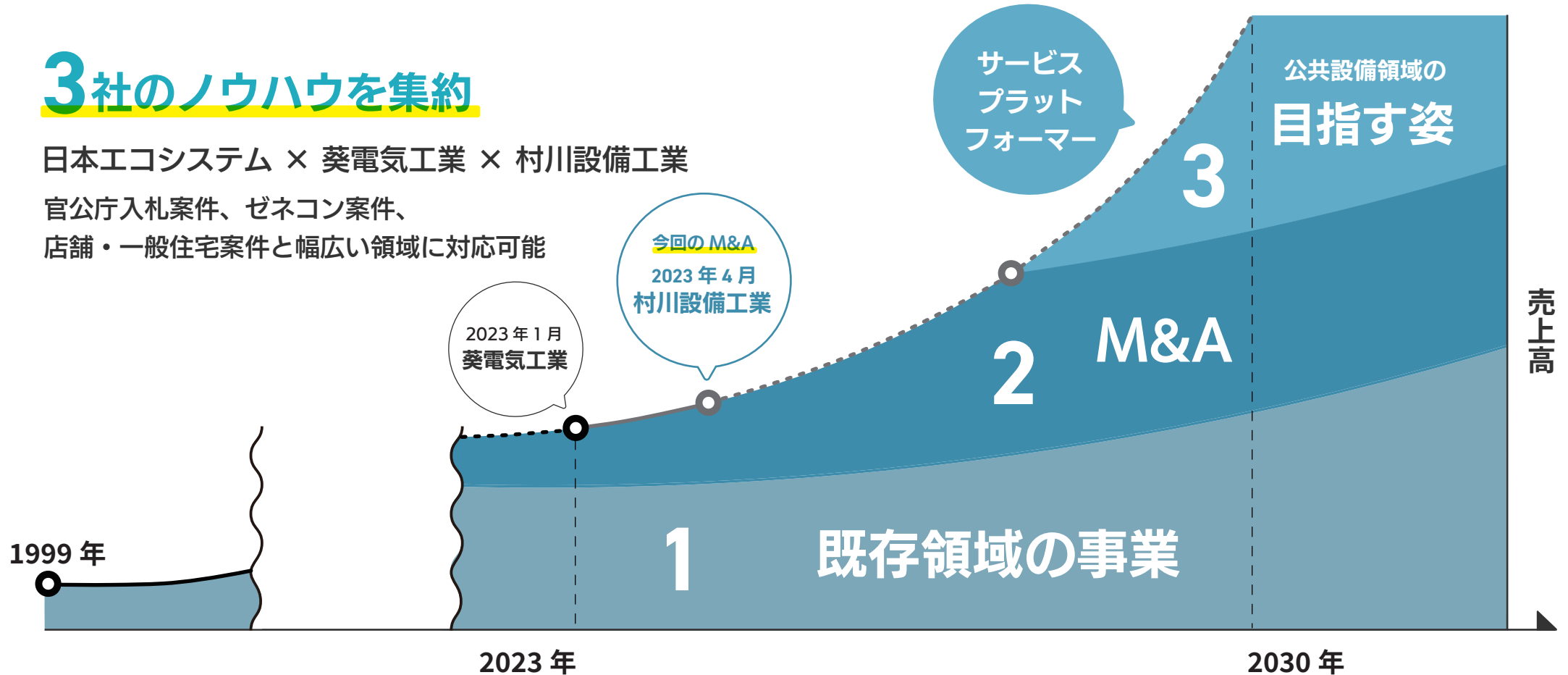
09

# 過去トピック 公共サービス事業 M&A

村川設備工業をグループ化 (2023年4月)。  
 空調設備工事等のサービス提供範囲の拡大といったシナジー効果を創出

## 3社のノウハウを集約

日本エコシステム × 葵電気工業 × 村川設備工業  
 官公庁入札案件、ゼネコン案件、  
 店舗・一般住宅案件と幅広い領域に対応可能

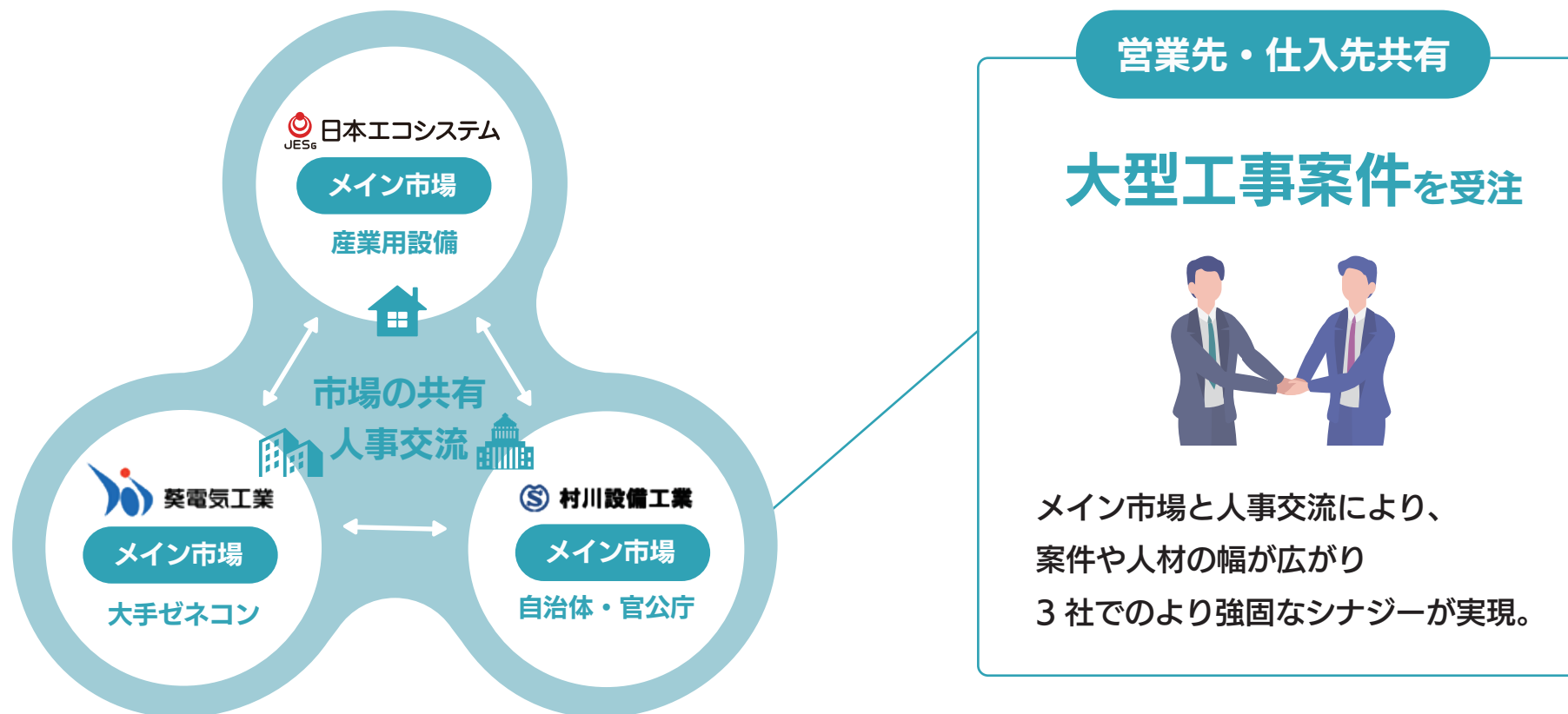


09

# 過去トピック 公共サービス事業 村川設備工業 PMI 事例

村川設備工業で大型工事案件を受注。

当社 × 葵電気工業 × 村川設備工業：3社のエンジニアの技術結集を図る



# 過去トピック 公共サービス事業 新商材サウナの取り組み

販売開始1年目は良好な滑り出し。

健康志向や施設の付加価値化の需要に合わせて木製サウナの普及を図る

## 取扱製品



HARVIA とは？

世界 80 か国以上に製品を供給するフィンランド式のサウナ & スパを取り扱うメーカーです。

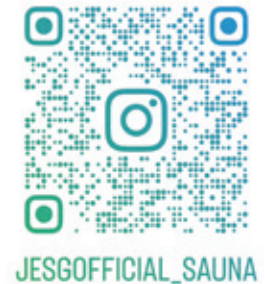
当社展示の様子



## SNS による情報発信を開始 (マーケティング)



日本エコシステムサウナ公式  
Instagram 始動！





# 09

## 過去トピック 公共サービス事業 M&A

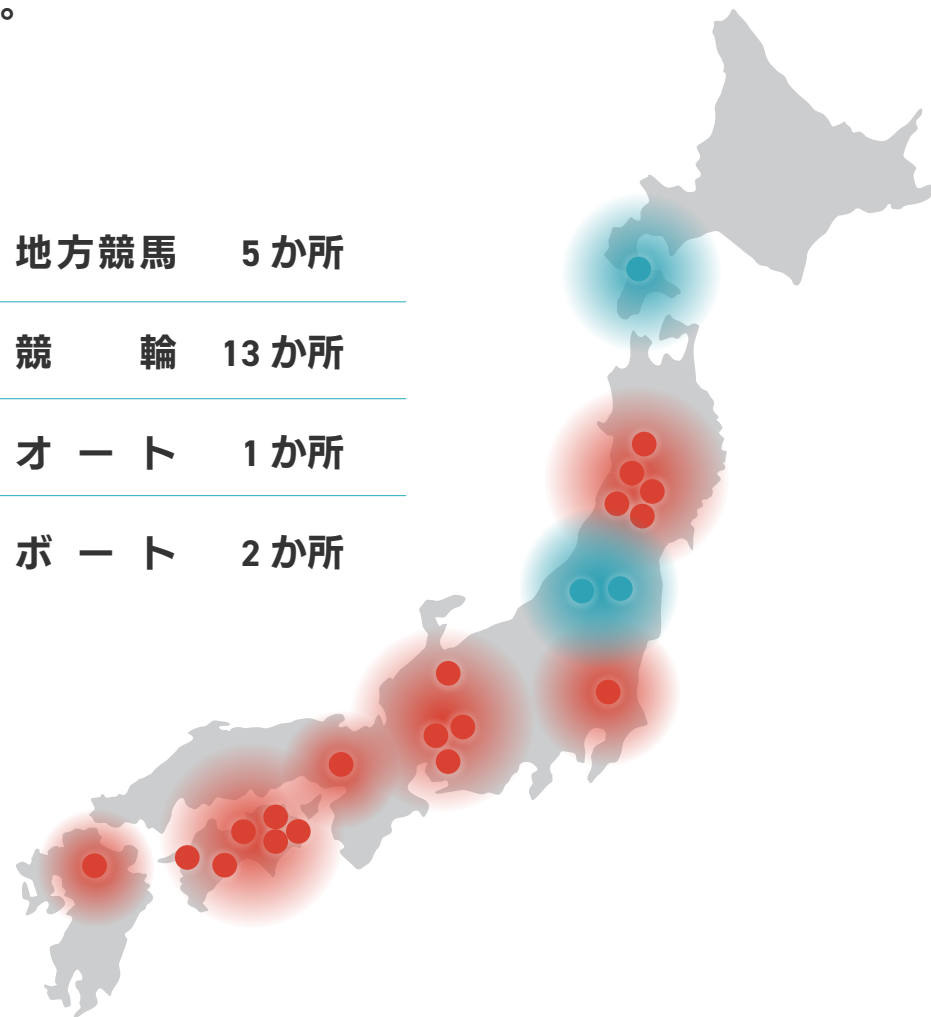
オー・ティー・エス技術サービスをグループ化 (2022年11月)。  
 既存のエリアに加え、東日本エリアの業務が拡張・拡大

オー・ティー・エス技術サービス  
 東北・北海道に 3 か所

+

JESグループ  
 西日本を中心に 18 か所

	地方競馬	5 か所
	競 輪	13 か所
	オ ー ト	1 か所
	ボ ー ト	2 か所



09

過去トピック 公共サービス事業 公営競技関係の組織再編 (2023年10月1日より)

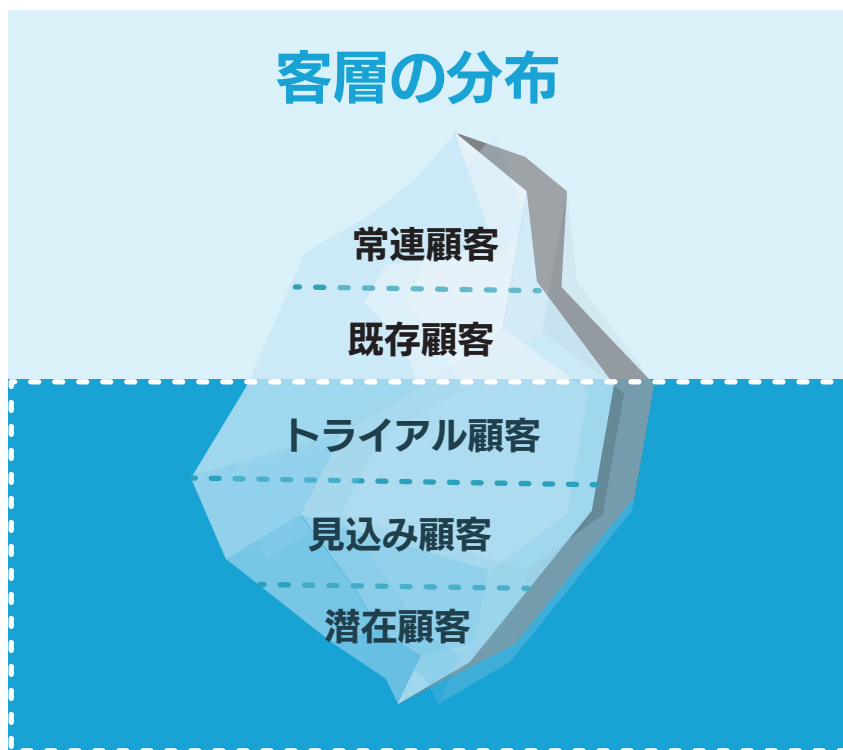
オー・ティ・エス技術サービスとサテライト一宮の合併を決定。  
公営競技グループの横断的連携とシナジーの実現を図る



# 09

## 過去トピック 公共サービス事業 積極的なイベント開催

集客拡大を目的に、バスツアーや競輪選手によるトークイベントなど  
公営競技ファンの注目度が高いイベントを積極的に開催



新規・既存顧客へ  
**アプローチ**



観戦バスツアー

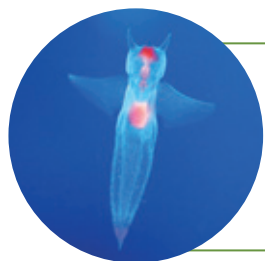


トークショー



※現役競輪選手東口選手によるトークショーや  
浜松オートレース場観戦バスツアーなどを開催

## 過去トピック 環境事業「水循環システム」の施工実績



### 新規 オホーツク流氷館

オホーツク流氷館の  
クリオネ水槽をリニューアル工事

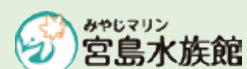


### 新規 南知多ビーチランド

ペンギン水槽の老朽化に伴う  
ろ過率の高い装置にリニューアル工事

## 施工実績を全国に拡大

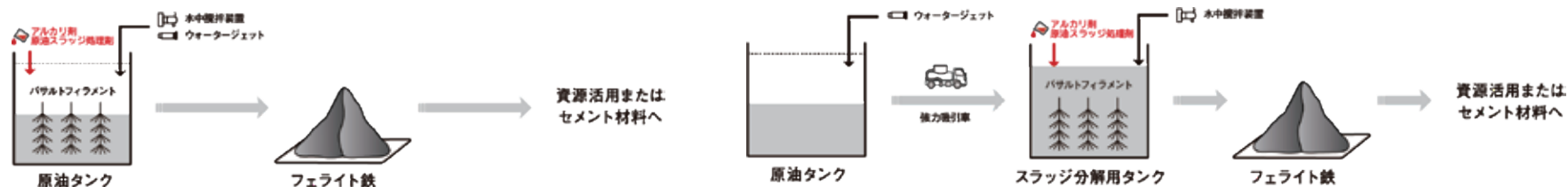
新たに、北海道のオホーツク流氷館、愛知県南知多ビーチランドの施工を行いました。当社の強みである、水を綺麗にするトータルエンジニアリングを活かし、環境に配慮した施工を推進してまいります。



## 過去トピック 環境事業 原油スラッジ米国特許

### 原油スラッジとは？

原油スラッジは、原油を貯蔵するタンクの底へ蓄積される堆積物のことで、現在世界的な課題となっており、当社は原油スラッジ処理においてガス・水・廃棄物の複数を処理できる当社独自の技術を開発しています。

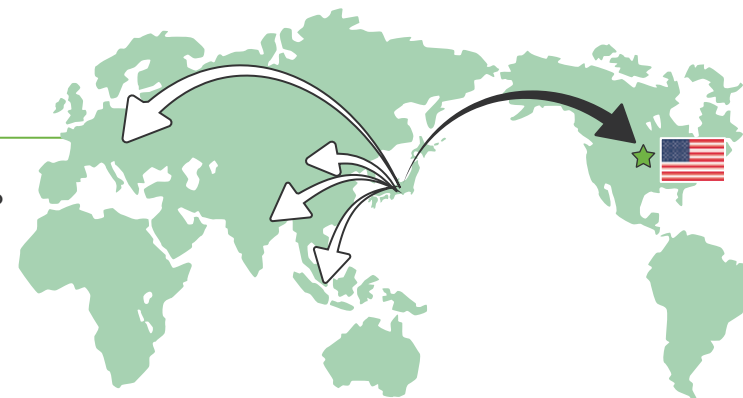


### なぜ海外に特許を？

#### 海外市場の優位性

原油スラッジ技術の海外需要が高いことに着目し、海外での特許取得を推進しました。今後も海外展開に向け、積極的に活動してまいります。

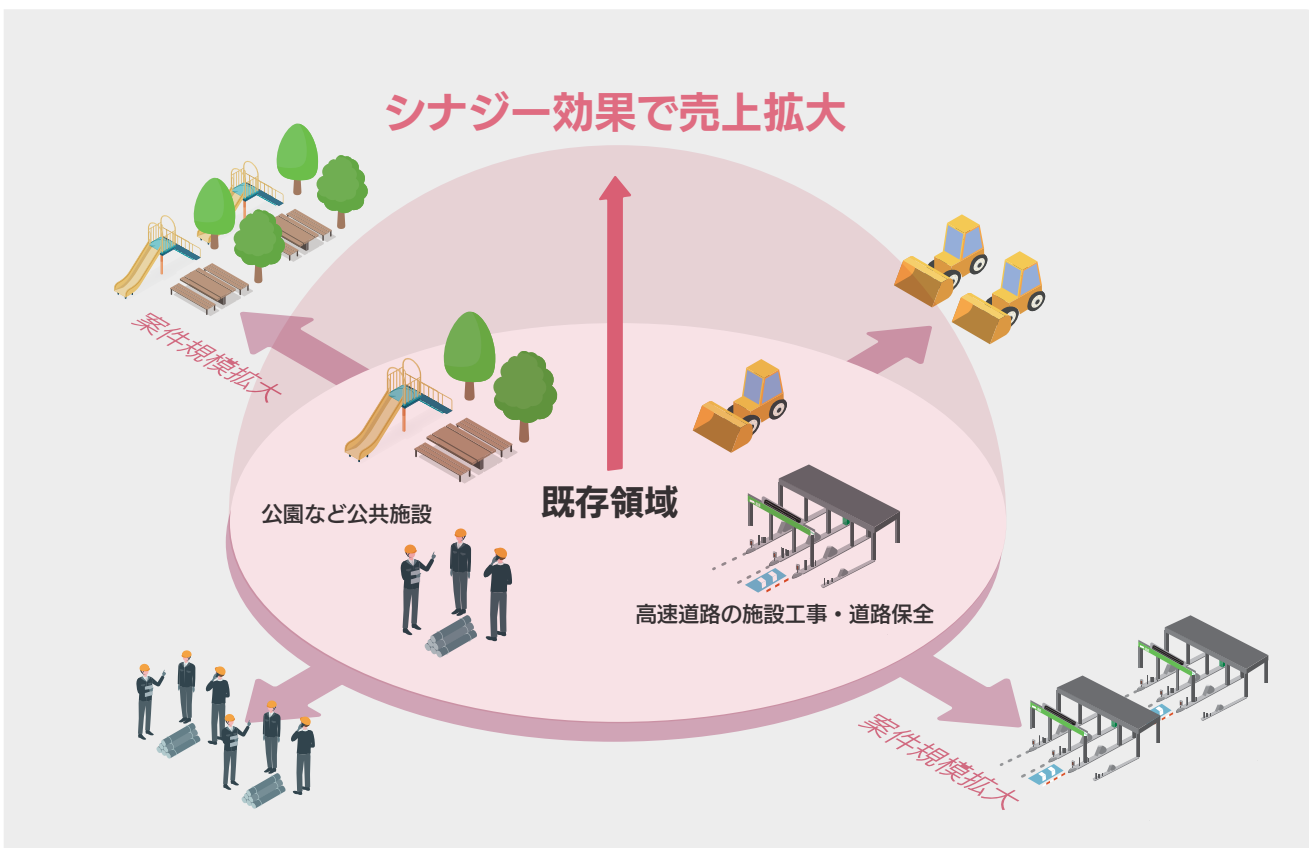
※米国特許取得 2023年4月4日



## 09

## 過去トピック 交通インフラ事業 LED 関連工事の領域拡大

道路照明灯の LED 更新工事や点検業務に加えて、公園など公共施設の照明灯にかかわる業務にも幅を拡張



## 工事实績

- 公園灯 LED 更新工事
- 道路照明灯点検業務
- 道路照明灯設置工事



## 09

## 過去トピック 交通インフラ事業 業務エリアの拡張・拡大

北陸地区の高速道路本線交通規制エリアを拡大。

稼働エリア広域化 × 人員動員で迅速かつ大規模案件に対応





## 09

## 過去トピック 交通インフラ事業 M&amp;A

神奈川県で電気工事業を行う興電社をグループ化（2023年7月）。  
参入障壁の高い公安関係向けの交通信号機工事といった特殊工事に強み



## 当社の業務エリア

- ・LED道路灯工事
- ・LED公共施設工事
- ・トンネル設備工事
- ・ETC保守

当社

興電社



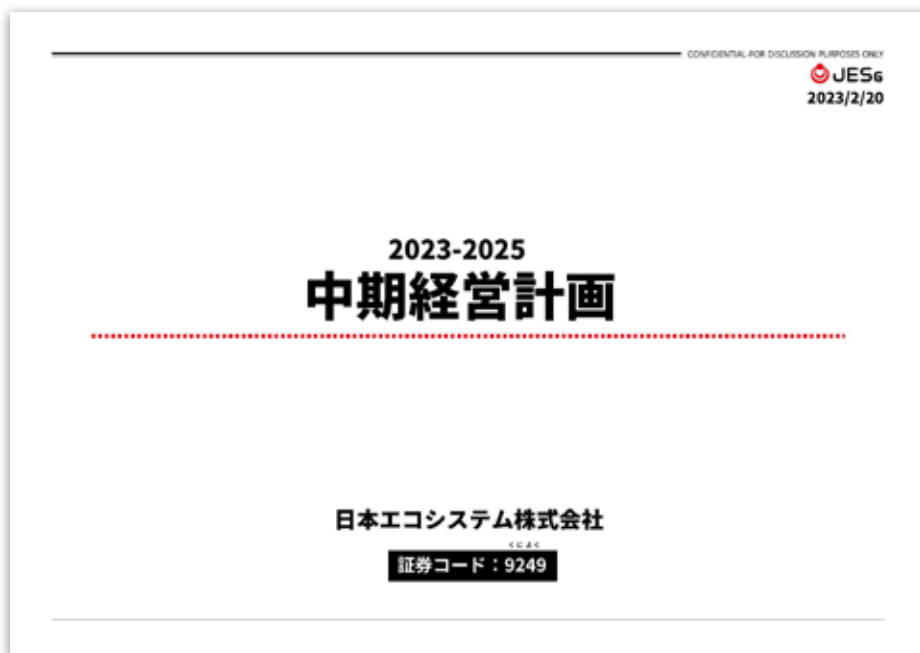
## 興電社の業務エリア

- ・交通安全施設の工事



## 過去トピック 中期経営計画 2023-2025 (2023年2月20日発表)

300年企業の創造に向けた会社の目指す目標の設定、  
株主や投資家等との対話の充実を目的として中期経営計画を策定



### 中期経営計画の概要

- 1 JESG の存在意義
- 2 JESG Vision2030
- 3 中期経営計画
- 4 成長戦略
- 5 SDGs への取り組み

#### ピックアップ情報

- 連結売上高 CAGR **6%~7%** 2022年 72億 2025年 88億~ 2030年 138億~
- エンジニアの採用・育成 **23%**増 2025年 高難易度資格保有者の増員
- M&A 戦略投資 **30億~50億**円 (中期経営計画期間)

## 過去トピック 統合報告書 2023 (2023年3月18日発表)

ステークホルダーの皆さまへ当社グループの理解をより深めていただくため、今後のビジョンや価値創造について記載した統合報告書を発表



### 統合報告書の概要

- 1 どこに向かうのか・・・・・・経営の羅針盤
- 2 どんな成長を描くか・・・・・・事業戦略
- 3 どう維持するのか・・・・・・価値創造の基盤

### ピックアップ情報

- ビジョン 社会・環境とともに発展できる「エコシステム」の実現へ
- 代表取締役社長・各事業担当役員・従業員メッセージ
- 財務・非財務ハイライト

# 本資料における注意事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

本資料及び当社 IR に関するお問合せ先 管理本部 IR 担当

☎ 0586-64-9249

✉ [ir.jesg@jp-eco.co.jp](mailto:ir.jesg@jp-eco.co.jp)